2025

経営学部独自海外留学プログラム

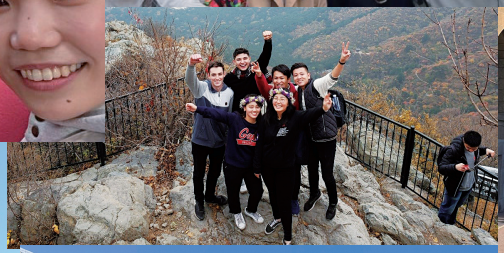
Business Studies Abroad Guidebook

BSA の手引き



College of Business Administration
Ritsumeikan University

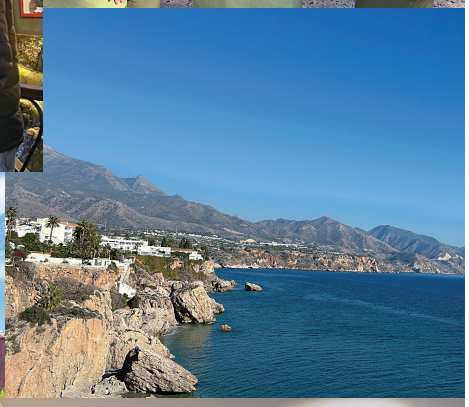












CONTENTS

1．BSAへようこそ! …… 4
（1）BSAとは
（2）プログラムの種類と目的
（3）BSA派遣先一覧
（4）留学の流れ
（5）応募から留学までのスケジュール

2．BSA Ⅰについて …… 8
（1）BSA Ⅰの特徴
（2）応募資格
（3）派遣先一覧
（4）参加費用・奨学金
（5）受講登録
（6）事前講義・事後講義
（7）単位授与と成績評価
（8）各コース紹介・学生体験記

3．BSA Ⅰ Plusについて …… 15
（1）BSA Ⅰ Plusの特徴
（2）応募資格
（3）派遣先
（4）参加費用・奨学金
（5）受講登録
（6）事前講義・事後講義
（7）単位授与と成績評価
（8）プログラム紹介・学生体験記

4．BSA Ⅱ・Ⅳについて …… 19
（1）BSA Ⅱ・Ⅳの特徴
（2）応募資格
（3）派遣先一覧
（4）費用・奨学金
（5）学籍と受講登録
（6）単位認定と成績評価
（7）各派遣先大学紹介・学生体験記

5．BSA Ⅲについて …… 36
（1）BSA Ⅲの特徴
（2）応募資格・派遣先
（3）その他
（4）派遣先紹介・学生体験記

6．BSAに参加するにあたっての注意事項 …… 38

7．BSAプログラムQ&A ーよくある質問ー …… 39

8．BSA各プログラム派遣実績 …… 41

9．留学に向けて …… 43

1．BSAへようこそ！



（1）BSA とは

経営学部では、グローバルな視点に立って世界を舞台に活躍するビジネスリーダーを育成するため、経営学部独自留学プログラム Business Studies Abroad（BSA）を実施しています。

BSA には、海外での学びを経験するプログラム（BSA Ⅰ）や海外の大学（ビジネススクール）で外国語を使って経営学を学ぶ留学プログラム（BSA Ⅰ Plus、BSA Ⅱ・Ⅳ）、海外企業でのインターンシップを通じて国際ビジネスの現場を体験するプログラム（BSA Ⅲ）などがあります。日常的な経営学部での外国語・教養科目・専門科目の学びに加えて、BSA による “Border” を超えた学びを通じて、皆さんは将来「ビジネスを発見し、ビジネスを創造する」人材となれることでしょう。皆さんの積極的な参加を期待しています。

（2）プログラムの種類と目的

BSA は、内容やレベル別に次の 4 つのパターンで実施しています。

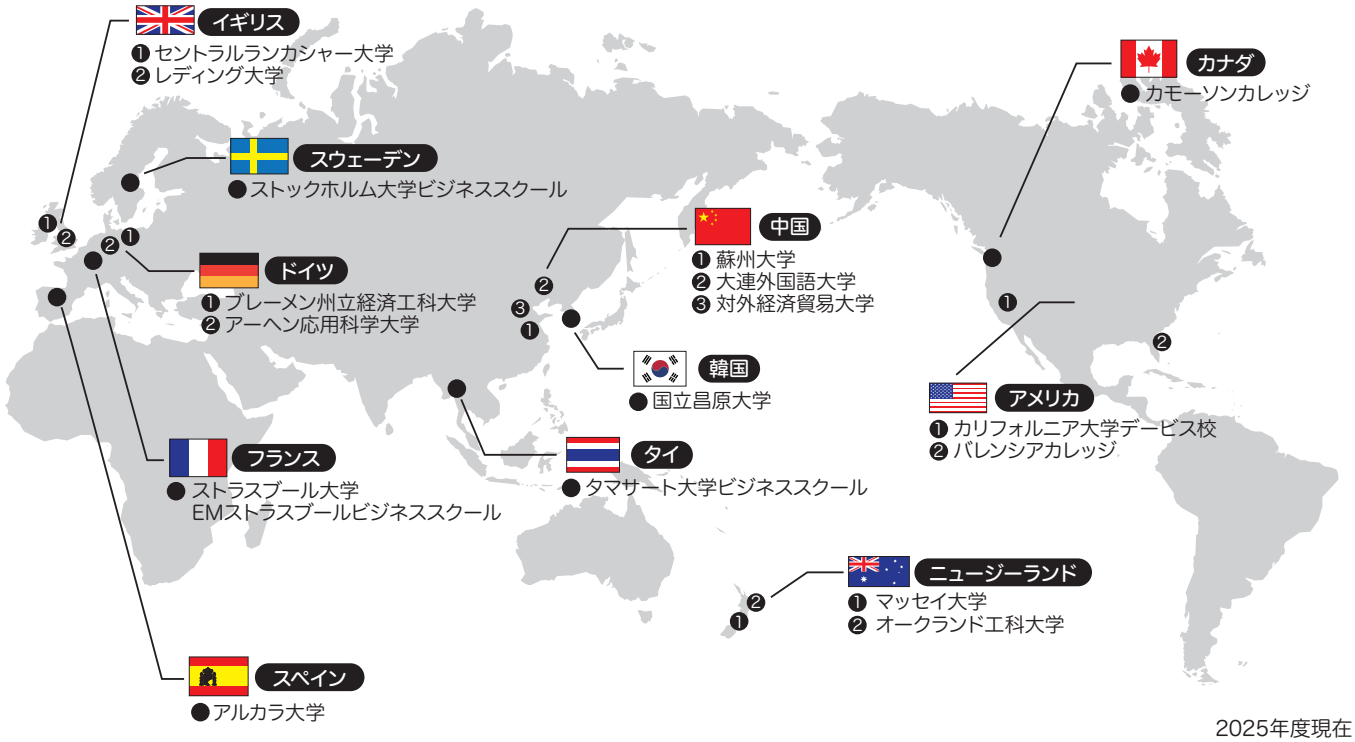
BSA Ⅰ （派遣型）	・・・・・・ （P.8～14）	「大学在学期間中に留学をしたいけど、あまり外国語力には自信がない」「講義を受講するだけではなく、さまざまなアクティビティも行いたい」という方のためのFirst Stepとなる、約2週間～1ヶ月間の海外派遣プログラムです。1回生から参加できるプログラムで、外国語の授業と現地企業見学や基礎的な経営学の講義を通じて異文化理解を体験します。
BSA Ⅰ Plus （派遣型）	・・・・・・ （P.15～18）	1回生から参加できるプログラムで、カリフォルニア大学デービス校で実施する「Entrepreneurship and International Business Program for Ritsumeikan University」に参加し、ビジネス英語力の向上と多国籍企業で働く際のスキルの向上および革新的な企業の取り組みなどを学ぶ、約1ヶ月間の海外派遣プログラムです。
BSA Ⅱ・Ⅳ （交換／派遣型）	・・・・・・ （P.19～35）	BSA Ⅱ 2回生から参加できるプログラムで、主に派遣先大学における1セメスター間を利用して、ビジネススクールや経営学部を有する大学で、専門科目を他言語で理解できる能力を磨きます。 BSAⅣ 2回生から参加できるプログラムで、主に派遣先大学における2～3セメスター間を利用して、ビジネススクールや経営学部を有する大学で、経営学に関する専門科目を他言語で受講しながら、仕事で使える高度なコミュニケーション能力や国際経営の専門知識の修得を目指します。
BSA Ⅲ （派遣型）	・・・・・・ （P.36～37）	2回生から参加できるプログラムで、英語でビジネスに関する授業を受講するとともにアメリカ・フロリダ州のウォルト・ディズニー・ワールドなどの企業で実務研修を行い、国際社会に必要とされるビジネス感覚を養います。

派遣型留学と交換型留学の違いは、以下の通りです。

派遣型留学	派遣型留学とは、経営学部と学生派遣協定を締結している海外の大学・機関へ、一定の期間、留学する制度です。授業料等のプログラム参加費用は、立命館大学の学費とは別に、別途納入する必要があります。その他、留学に係る経費も自己負担となります。
交換型留学	交換型留学とは、一般的に「交換留学」と呼ばれ、経営学部と学生交換協定を締結している海外の大学（ビジネススクール）へ、一定の期間、留学する制度です。交換留学制度により、立命館大学に授業料を納入すれば、派遣先大学での授業料を納入する必要はありません。ただし、履修科目、登録単位数等によっては有料となる場合があります。その他、留学に係る経費は自己負担となります。

（3）BSA派遣先一覧

BSAプログラムでの留学・海外実習派遣先



2025年度現在

プログラム名	派遣期間	派遣先
BSA Ⅰ	約2週間～約1ヶ月間	・国立昌原大学（韓国） ・蘇州大学（中国） ・マッセイ大学（ニュージーランド）
BSA Ⅰ Plus	約1ヶ月間	・カリフォルニア大学デービス校（アメリカ）
BSA Ⅲ	約6ヶ月間	・バレンシアカレッジおよびウォルト・ディズニー・ワールドでの企業実習（アメリカ）
BSA Ⅱ･Ⅳ	1セメスター または 2セメスター	・大連外国語大学（中国） ・対外経済貿易大学（中国） ・カモーソンカレッジ（カナダ） ・オークランド工科大学（ニュージーランド） ・タマサート大学ビジネススクール（タイ） ・ストックホルム大学ビジネススクール（スウェーデン） ・ストラスブール大学EMストラスブールビジネススクール（フランス） ・ブレーメン州立経済工科大学（ドイツ） ・アーヘン応用科学大学（ドイツ） ・アルカラ大学（スペイン） ・セントラルランカシャー大学（イギリス） ・レディング大学（イギリス）
BSAⅣ1.5年	3セメスター	・対外経済貿易大学（中国）

（4）留学の流れ

留学をする際、皆さんには学習面・生活面・各種手続き等において、さまざまな計画と準備が必要になります。
下の表を参考に留学の計画と準備を行うようにしてください。

BSA参加までのロードマップ		
	Step1 留学目標設定	○大学生活のプランを立てましょう。 ○留学の目標を設定しましょう。
	Step2 BSA応募資格達成	○応募基準の外国語スコアの達成に向けて準備しましょう。 ○応募基準のGPAスコアの達成に向けて準備しましょう。
	Step3 留学情報の収集と相談	○**派遣者募集ガイダンスに参加しましょう。** ○募集要項を確認して**経営学部事務室**や父母等家族のみなさんに**相談**しましょう。
	Step4 参加プログラム選択	○留学先で学びたいことを明確にしましょう。 ○留学先（国・地域）や留学期間を決めましょう。
	Step5 留学前後の履修計画	○留学前後の履修計画を立てましょう。 ○就職活動の日程を確認し、計画を立てましょう。

※申請前には事前のガイダンス出席や経営学部事務室に相談するようにしてください。

（5）応募から留学までのスケジュール

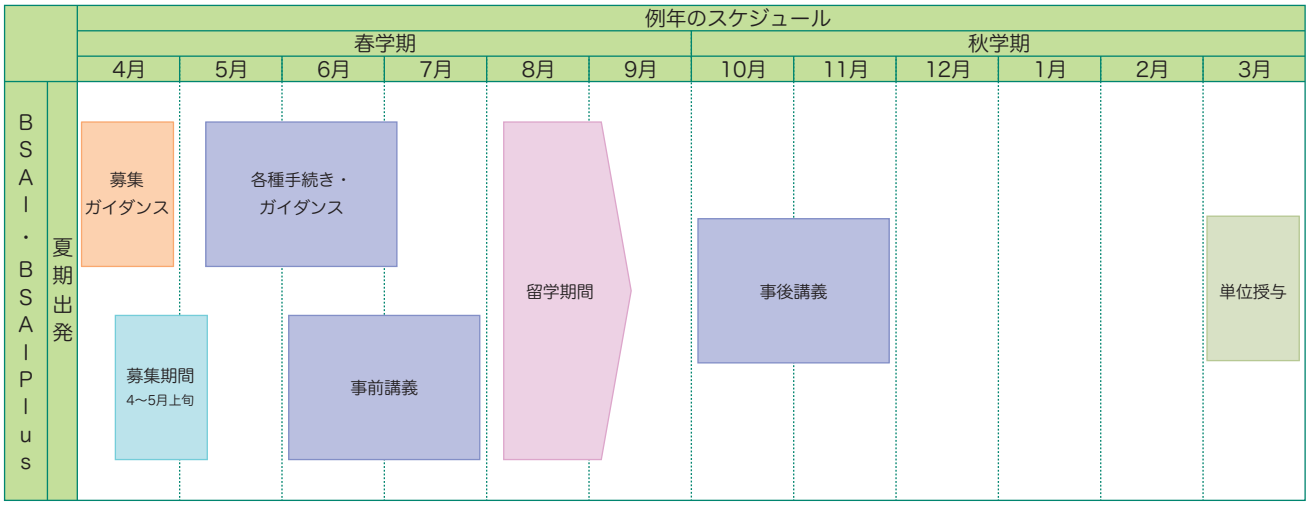
BSA各プログラムの募集開始時期と留学時期は以下の通りです。

語学要件のあるプログラムに応募する場合は、募集開始時期までに外国語試験の受験計画を立て、語学スコア等の提出ができるよう準備してください。

また、募集ガイダンスの日程はmanaba＋R上で確認することができます。希望するプログラムの募集ガイダンスに参加して、募集要項や留学に関する情報を入手しましょう！

BSAⅢに関し、アメリカ（ディズニー・バレンシア国際カレッジプログラム）は例年2月・8月の派遣となります。詳細は、募集ガイダンス・募集要項にて案内します。

■BSAⅠ・BSAⅠPlus（例年）



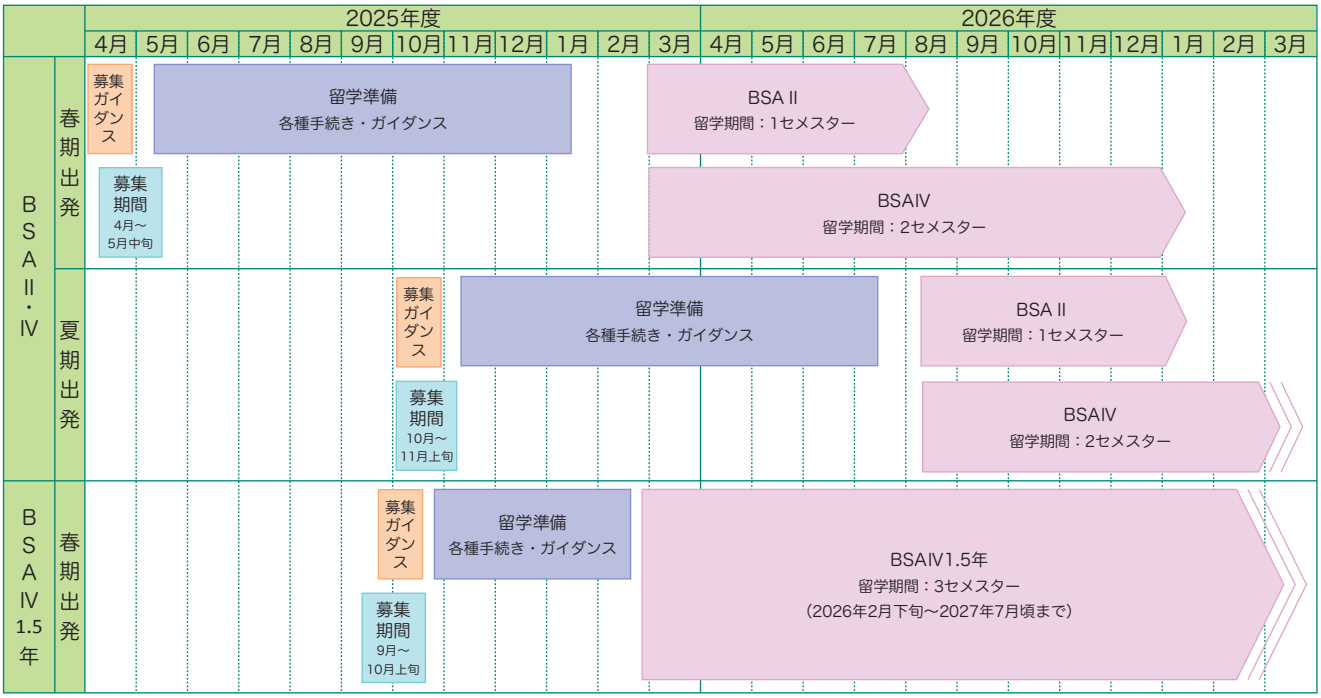
FAQ

Q BSAⅠ（Ⅰ Plus）に参加したいのですが、応募準備はいつから行えばよいでしょうか。

A BSAⅠ（Ⅰ Plus）では例年4月に募集ガイダンスを行い、5月上旬頃に応募締切となりますので、それまでにBSAホームページから募集要項、応募用紙をダウンロードして必要書類を準備してください。

Step6 出願・選考	○募集要項を確認し、必要書類を提出しましょう。 ○書類選考・面接選考を受けましょう。
Step7 留学の決定	○選考結果を確認しましょう。 ○留学派遣者向けのガイダンスに出席しましょう。
Step8 出発前準備	○パスポート確認、ビザの申請手続きをしましょう。 ○住居の申込、留学生活の準備をしましょう。
Step9 留学	○授業や課外活動には積極的に参加しましょう。 ○留学中の生活に慣れるように努力しましょう。
Step10 留学帰国	○留学終了、単位認定、受講登録等の手続きをしましょう。 ○留学生バディとして活躍しましょう。

■BSA Ⅱ・BSAⅣ（2025年度募集分）



FAQ

Q BSA Ⅱ・Ⅳに応募したいのですが、応募準備はいつから行えばよいでしょうか。

A BSAの中・長期留学プログラムでは、派遣の約1年前に募集を行います。ただし、BSAIV1.5年（対外経済貿易大学）プログラムは半年前に募集を行いますので留意してください（上表参照）。志望する派遣先大学の成績基準、語学基準等を確認のうえ、BSAホームページから募集要項、応募用紙をダウンロードして必要書類を準備してください。

（1）BSA Ⅰの特徴

BSA Ⅰは外国語のスコアを問わない入門編の海外留学プログラムで、引率教員も同行するため、海外へ行くのが初めてという方にも安心して参加していただけます。なお、引率教員の同行期間は派遣先によって異なります。

（2）応募資格

①経営学部生であること。※大学院生は対象外
②2回生以上の応募者は累積もしくは直近セメスターのGPAが2.0以上であること。
③本プログラムの趣旨・目的を理解し、事前講義・現地学習・事後講義のすべてに参加可能であること。
④派遣先大学での学習および課外活動について、多大な関心と意欲を持っていること。

※派遣者の決定にあたっては、上記応募資格を満たした応募者に対し、書類審査および面接審査を実施します。

（3）派遣先一覧

コース	派遣先大学	所在地	実施期間	募集人数	宿泊形態
韓国(◆)	国立昌原大学	韓国・慶尚南道昌原市	8月上旬～8月中旬 (約2週間)	25名	学生寮
中国	蘇州大学	中国・江蘇省蘇州市	8月上旬～9月上旬 (約1ヶ月間)	20名	学生寮
ニュージーランド	マッセイ大学	ニュージーランド・ パーマストンノース	8月上旬～9月上旬 (約1ヶ月間)	30名	ホーム ステイ

（◆）韓国コースは2025年度より新規開講

（4）参加費用・奨学金

①参加費用
参加費用は全額個人負担となります。実習費、課外活動費、宿泊費、食費（別途実費負担の場合あり）、渡航費などが含まれます。物価の上昇、為替相場の変動によって納付する参加費用が変動します。

■参加費用（経営学部への納付金額）に含まれるもの

コース	航空券代	実習費課外活動費	教材費	滞在費	派遣先大学施設使用料（インターネット、図書館など）	現地空港・派遣先大学間往復送迎費用	食費	フィールドワーク費用（※1）	ビザ発行に関する費用	危機管理サービ加入費用	現地大学の指定保険加入費用
韓国	○	○	○	○	○	○	2食/日 (※2)	○	×	○	×
中国	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	×
ニュージーランド	○	○	○	○	○	○	3食/日	○	×	○	○

（※1）別途必要な場合もあります
（※2）平日の朝・昼・夕食のうち2食と週末の昼・夕食

■参加費用に含まれないもの
・現地での交通費
・クリーニング代、通信費、土産代などの雑費
・ビザ発行に関する費用：ニュージーランドコースのみ
・食費：韓国コース（一部）と中国コース
・海外旅行保険加入費用（大学指定の保険加入が必須です）

■参加費用見込
※奨学金支給額は含んでいません。
※参加人数や情勢による費用の変動があるため、正式な参加費用は派遣者決定後（7月初旬頃）に通知します。

コース	参加費用見込金額
韓国	約25～35万円
中国	約35～45万円
ニュージーランド	約75～85万円

■過年度実績
※奨学金支給額は含んでいません。

コース	2024年度	2023年度
中国	実施なし	実施なし
ニュージーランド	82万4千円	64万3千円

②奨学金
　立命館大学では、留学プログラムに参加する学生に「立命館大学海外留学チャレンジ奨学金」を支給しています。この奨学金は、参加費用の一部を補助することにより、プログラムへの参加・修了を奨励する制度です。なお、奨学金の支給額は今後変更になる可能性がありますので、あくまで参考としてください。
　※該当する奨学金は参加費用の一部として充当し、参加費用請求時に以下の金額を差し引いて通知します。

コース	奨学金支給金額（予定）
韓国	5万円
中国	6万円
ニュージーランド	10万円

※奨学金支給金額は、実際に負担する参加費用によって変動します。

（5）受講登録

・受講登録は、経営学部事務室にて一括登録を行います。皆さんが登録する必要はありません。
・年間受講登録制限単位数の制限外で登録を行います。
・受講登録後の辞退については成績評価がF評価となります。

（6）事前講義・事後講義

　事前講義・事後講義共に、プログラムの一部として単位授与の対象となり、担当教員の許可を得ずに事前講義または事後講義を1回でも欠席すると、派遣先大学での留学参加および単位を認めない場合がありますので、必ず出席してください。

■事前講義
　時期　6月～7月
　回数　韓国コース：95分×3回程度
　　中国コース：190分×3回程度
　　ニュージーランドコース：190分×3回程度

■事後講義
　時期　10月～12月
　回数　韓国コース：95分×1回程度
　　中国コース：190分×2回程度
　　ニュージーランドコース：190分×1回程度

　※事前講義・事後講義の日時はコースごとに設定します。
　※その他関連ガイダンス（派遣者ガイダンス、保健センターガイダンス、危機管理ガイダンス、BSA結団式など）にも必ず出席してください。

（7）単位授与と成績評価

・成績評価
　A＋、A、B、C、F評価のいずれかとなります。

・評価対象（以下の全てが評価対象となります）
　事前講義
　海外派遣プログラム
　研修言語によるレポート
　事後講義
　海外派遣後のレポート
　※海外派遣後のレポートは、事後講義で指導があります。

■このプログラムは下表の科目で単位授与されます。
　（※入学年度・適用カリキュラムによって授与分野・科目名が異なります。十分に確認して履修計画を立ててください。）

2022年度以降入学者

		韓国コース	中国コース		ニュージーランドコース	
国際経営・経営学科（両学科）	分野	専門科目（自学科・自コース以外）	専門科目（自学科・自コース以外）	教養科目	専門科目（自学科・自コース以外）	教養科目
	科目名	外国留学特修科目	外国留学特修科目	外国留学科目	外国留学特修科目	外国留学科目
	単位数	2単位	4単位	2単位	2単位	2単位
	合計	2単位	6単位		4単位	

※ 2021 年度以前入学生は、学修カリキュラムが異なるため、経営学部事務室に問い合わせください。

（8）各コース紹介・学生体験記





中国コース〈蘇州大学〉

中国・江蘇省
■蘇州市の特徴：
　2000年以上の歴史を有する歴史都市であり、園林文化が発達し、「東洋のベニス」と呼ばれている。上海まで新幹線で30分。近郊の蘇州工業園区には1,000社以上の日本企業が進出している。

蘇州大学
■創立：1900年
■学生数：約50,000人
■大学の特徴：
　中国国家プロジェクト「211工程」の指定校で江蘇省所轄の重点大学です。103の学部、修士、博士コースが設置されており、日本、フランス、ドイツ、アメリカ、カナダ、オーストラリアなどの国・地域の100ヶ所にのぼる大学と協定を結んでいます。毎年外国人留学生、中国語進修生（非正規留学生）など約2,000人を受け入れています。

プログラムの流れ

	項目		内容
事前講義	事前講義		・BSA Ⅰ中国の概要説明 ・日中の歴史問題を考える ・中国について発表（概況、歴史、文化、生活） ・日中経済について発表 ・訪問企業について理解 ・企業研究のテーマを設定し、調査計画書を作成
海外派遣	中国語		発音、日常会話を中心とした簡単な聴・説・写・文法解説
	経営学入門科目		中国概況、中国経済、中国市場動向、日中経済、日中ビジネス
	フィールドワーク	歴史文化	（例） 歴史名所の見学、太極拳、書道、昆劇観賞などを経験する
		中国社会	（例） （1）消費市場の見学 （2）上海見学
	現地企業訪問		（例） 日系企業（予定） （1）JETRO（日本貿易振興機構）上海センター （2）日系企業 中国企業（予定） （1）中国系の企業 （2）その他関係機関
	学生交流		派遣先大学外語学院日本語学科学生との交流会 ・スポーツ、パーティー
事後講義	事後講義① （蘇州大学にて）		中国の歴史文化・社会生活に関する報告 ・研究の成果報告 中国の経済環境と在中企業の経営戦略に関する報告 ・企業研究の成果報告 （蘇州大学の教職員と学生が参加して交流する予定）
	事後講義② （日本帰国後）		中国のビジネス環境と在中企業の経営戦略に関するレポートの報告

※上記内容は、開講年度により変更となる場合があります。

週間スケジュール例

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
午前	中国語	中国語	中国語	中国語	中国語	中国語	観光・買い物
午後	中国経済（講義）	文化体験 学生交流	中国経済（講義）	文化体験 学生交流	中国経済（講義）	中国経済（講義）	

※上記内容は、開講年度により変更となる場合があります。

留学体験記



経営学科　1回生　2019年度派遣者
留学先：蘇州大学
留学期間：約1ヶ月間

私がBSA Ⅰの中国コースへの参加を決めたきっかけは、ほんの少しの中国への興味でした。

留学先の蘇州は「水の都」といわれ、いたるところに川があり、夜景が特にきれいで魅力的な都市でした。日本より人が多く、また建物や道路などいろいろなものの規模が大きく、日本との違いがはっきりと感じられました。蘇州は上海など外国人が多い都市とは違い、あまり外国人がいないためか、店の店員さんであっても英語が通じない人が多く、初めの頃は戸惑うときも沢山ありました。しかし、蘇州大学で受けた中国語の授業を通して、少しずつ中国語という言語に触れ、学んでいくことで、店での注文や買い物の時など自分たちだけでもできるようになりました。中国語の授業では、中国語をただ単に頭に入れるのではなく、じっくり基礎から勉強し、また二人一組での会話練習や早口言葉の練習などのゲーム形式で授業を進めることで、より楽しく、より深く中国語という言語を学ぶことができました。そして、中国経済に関する授業では、先生が日本語で授業を行い、中国の経済についての話だけではなく、日本と中国の従来の関係性や日本経済との比較などにも言及されていて、とても理解しやすく、楽しく授業を受けることができました。上海での企業見学においても、ここで学んだ内容が役に立ちました。企業見学では、各班につき2社ずつ担当し、全員で合計8社を訪問しました。中国の会社から日系企業まで様々な企業があり、それぞれの企業で実際に工場見学をしたり製品に直接触れさせていただき、とても有意義な時間を過ごすことができました。こういったカリキュラム以外にも、蘇州大学の学生との交流会や自由時間もあり、たくさんのことに挑戦してみることができました。現地学生との交流として、私は自由時間のある日などを使い、現地の学生さんと映画やショッピングに行きました。映画は中国のもので、すべての内容を理解することはできませんでしたが、初めて行く中国で映画を見るという新しい挑戦は、私にとってはとても意味のある体験でした。

今回の留学を通して、私は何かに挑戦することの大切さや楽しさを知りました。見知らぬ地での様々な活動は、つらいことも沢山ありましたが、それ以上にできなかったことができるようになる喜びの方が大きく感じられました。このことにより、私は迷っていた英語圏への長期留学を決心し、現在、それに向け日々努力しています。初めは少しの興味からの留学でしたが、今となっては私の大学生活、ひいてはこれからの人生において、とても大きな意味を持つ留学に変わりました。もし今、海外留学をするか悩んでいて、なかなか決心のつかない人がいたら、ぜひ留学することをお勧めしたいです。ただの興味本位であっても構いません。その「興味」がのちにどう変わってくるかはわからないことです。皆さんもぜひ、蘇州で意味ある留学生活を過ごしてみませんか？

※先輩体験記より抜粋

過年度派遣学生からのコメント

・わからない言語の国で、積極的に現地の人と話すことは、とても難しいことでしたが、その分積極性が身につきました。自分にはなかったものを身に付け、帰って来れた気がしています。1ヶ月間という短い期間でしたが、本当に楽しかったです。

・中国について様々なことを学ぶことができたと思っています。中国についての考え方や価値観などが大きく変わり色々なことに興味が持てるようになりました。とてもいい経験になったと思います。

・BSA Ⅰは、中国語を学んでいない人でも充実した生活を送ることができるプログラムです。現地の学生は英語も話せるので、英語と中国語を練習することができます！もし、少しでも留学に興味があるのなら参加するべきだと思います！

・食べ物の値段は安いし、美味しいし、確実に太るけど、とても楽しい思い出ばかりできました！中国の今を実際にこの目で触れることができたのは非常に貴重な経験になりました。

・中国に対しての考えが変わるとても身になる留学プログラムだと思います。夏休みを利用していい経験になること間違いなしです。

・1ヶ月間ですが留学経験のない方にとっては自分を成長させる良い機会になると思うのでぜひ参加してみてください！

BSA Ⅰ中国コースでは、派遣に関わるブログを作成し、派遣前、派遣中、派遣後の学生の生の声をお届けしています。
興味のある方は一度参考までに読んでみてください！








ニュージーランドコース〈マッセイ大学〉





ニュージーランド・パーマストンノース
■パーマストンノースの特徴：
　首都ウェリントンから約200キロ北に位置し、大学や高等教育機関、政府の研究機関が集まっている。親日家も多く、暮らしやすい街として人気がある。

マッセイ大学
■創立：1927年
■学生数：約40,000人
■大学の特徴：
　ニュージーランド最大で学術的にもトップクラスにランクされる教育、研究機関です。レクリエーション、スポーツセンターをはじめとして、図書館、カフェテリアなど大学の施設が非常に充実しています。アジアをはじめ、120以上の国・地域から留学生5,000人以上の受入を行い、大学が保有しているEnglish Language Centerで留学生向けの語学プログラムを展開しています。

プログラムの流れ

	項目		内容
事前講義	事前講義		・BSA I ニュージーランド概要 ・英語日常会話 ・ニュージーランド社会事情に関するグループ報告 ・自宅にて英語のオンラインプレイスメントテスト（予定）
海外派遣	英語講義		・リスニング、リーディング、ディクテーション、ライティング、ディスカッション及び文法の総合的学習（発音指導、語彙研究含む） ・ビジネス英語、ビジネスコミュニケーションの基礎
	経営学入門科目		・経済学の基礎知識（需要と供給・価格メカニズムなど） ・環境経済学の基礎、ニュージーランドの自然と農林業 ・ニュージーランド経済（貿易理論） ・日本とニュージーランドのビジネス比較 ・異文化理解
	フィールドワーク	歴史 文化 社会	マオリ文化体験、インドアカート、 ゴルフアクティビティ、オークランド観光など
	学生交流		ポットラックパーティーなど
事後講義	事後講義		・ニュージーランドの経済と経営に関する成果の個人報告 ・個人報告に基づく英文エッセイの執筆と報告書の作成

※上記内容は、開講年度により変更となる場合があります。





週間スケジュール例

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	週末
午前	English class	English class	English class	English class	English class	観光
午後	Business class	Business class	Interact with local students	Business class	Business class	
放課後	体育館で運動	友達のホストファミリーと交流	学校で無料のパンケーキ＆交流	ホストファミリーと一緒に日本食作り	学校で映画鑑賞	

※上記内容は、開講年度により変更となる場合があります。

留学体験記



国際経営学科　1回生　2024年度派遣者
留学先：マッセイ大学
留学期間：約1ヶ月間

ホストファミリーについて

留学前、私はホストファミリーとの生活に一番の不安を感じていました。私のホストファミリーはマザー１人の家庭だったからです。でも、実際に会ってみるととても気さくで優しく、そのおかげで不安は一気に解消されました。また、留学中に食事が合わないという話をよく聞いていたので、その点にも不安がありましたが、マザーは料理が趣味で、日本人にも合う味付けで料理を作ってくれました。夜ご飯は必ず一緒に食べ、2人でたくさん会話する時間を設けてくれました。そのため毎日、夜ご飯の時間が楽しみでした。最初は自分から話しかけるのに、とても勇気が必要でしたが、マザーが積極的に話しかけてくれたおかげで、次第に緊張が解け、たくさん会話を楽しむことができるようになりました。英語が聞き取れなかったときには、ゆっくりと繰り返してくれたり、わからない単語を別の言い方で説明してくれたりしました。嫌な顔ひとつせず、親切に教えてくれたので、英語を楽しく学ぶことができました。

1ヶ月間のマザーとの生活は本当に楽しいもので、お別れのときには涙を流してしまうほど濃密な時間を過ごしました。留学前に心配していたことは実際には起こらなかったので、ホームステイを不安に感じている方も、あまり心配する必要はないと思います。

ニュージーランドでの生活

私が1ヶ月間滞在したパーマストンノースは、留学にぴったりの場所だと感じました。大学が近くにあり、学生がたくさん集まるエリアで、留学生も多く住んでいました。そのおかげで、ニュージーランド人だけでなく留学生と交流することもできました。現地の人々はとても温かく、優しい方々ばかりで、心地よい環境でした。カフェやトランポリンパーク、映画館、ゲームセンターなど、放課後に遊びに行く場所がたくさんあり、特にカフェは、1ヶ月では回りきれないほど豊富で、どこもとても美味しかったです。

平日は毎日、授業がありました。午前中は英語、午後は経営学を学びました。クラスは立命館生のみで、ネイティブの先生に教わりました。最初は日本語を多く話してしまうのではないかと心配していましたが、みんなが積極的に英語でコミュニケーションを取っていたので、英語で話すか日本語で話すかは自分たち次第だと感じました。先生はとても優しく、親身に教えてくれるので、わからないことがあっても気軽に質問できる雰囲気でした。経営学の授業では、企業について学んだり、フィールドワークで実際に企業にインタビューに行ったりしました。そして、授業の最後にはプレゼンテーションも行いました。英語を学ぶだけでなく、経営学についても学べたことは、BSAプログラムならではの魅力だと思います。

週末は自由な時間が多く、みんなそれぞれ有意義な時間を過ごしていました。私はホストマザーと一緒に日本食を作ったり、お散歩を楽しんだりしました。また、ホストファミリー同士の交流があり、友達のホストファミリーに、カーレースやお土産屋さんに連れて行ってもらいました。さらに、友達を自宅に招いて一緒に食事をしたり、友達の家に招待されて、一緒に食事をしたりと、たくさんの人と交流し、さまざまな食文化を体験することができました。週末の何日かは、学校側がニュージーランド観光の計画を立ててくれたので、観光も楽しみながらニュージーランドについてたくさん学ぶことができ、勉強と観光の両方を充実させることができました。

留学を楽しむには

留学を通じて、私は「自ら行動すること」の大切さを実感しました。留学先で何もしなければ、新しい経験やチャンスを得ることはできませんし、自分を成長させるきっかけも失われてしまいます。さらに、後でそのことを後悔してしまうかもしれません。そうなるのは嫌だったので、私は留学中、現地の人々や他の留学生と交流したいと考え、学校が開催するイベントや学生が集まる場所に積極的に参加しました。そこで出会った人々と会話を楽しんだり、ゲームをしたり、映画を観たりと、充実した時間を過ごしました。

これらの経験は、自分から行動したからこそ得られた貴重なものであり、忘れられない思い出となりました。もし留学先で何をするか迷うことがあれば、思い切って行動を起こしてほしいです。そうすることで新しい経験やチャンスが広がります。それが、留学をより充実したものにしてくれると思います。

※先輩体験記より抜粋

過年度派遣学生からのコメント

・長期留学を考えている人にも、少し留学してみたい人にも、良いプログラムだと思いました。

・普段、日本で生活していると、体験できないようなことや出会えない人々に出会うことができて、とても貴重な経験になりました。英語力の向上だけでなく、さまざまな面で成長できてよかったなと思います。

・初めての留学でも楽しく、多くのことを学べたので、少しでも興味が湧いたら、ぜひ参加してください。

・思い切ってこの留学プログラムに参加して、とてもよかったと思う。留学に行ったからこそ、ニュージーランドでの生活はもちろん、当たり前だと感じていた日本での日常生活が当たり前ではないこと、普段気にしていないところで、さまざまな人に支えられて生活していることを改めて感じることができた。

・最初は困ったこともあったけど、仲間がいるから相談できたのが大きかったと思う。個人で留学していたら、孤独感でどうにかなっていたと思うが、団体で参加できたのが一番良かった。









韓国コース〈国立昌原大学〉





韓国・昌原
■昌原市の特徴：
　昌原市は韓国の南部に位置し、文化と産業の中心都市。重工業が盛んな一方で、美しい海岸線など、自然の観光地も豊富にある。2010年に馬山市、鎮海市と合併し、人口100万人を超える大都市となった。

国立昌原大学
■創立：1969年
■学生数：約9,150人
■大学の特徴：
　国立昌原大学は経営学部をはじめ、8つの学部と58の学科、そして7つの大学院研究科を設置しており、約9,150名の学生が在籍している。そのうち留学生は260名である。工学、人文学、社会科学、自然科学など幅広い学部・学科を有し、国際化を進め留学生プログラムや国際交流を積極的に推進している。

プログラムの流れ

	項目	内容
事前講義	事前講義	・プログラム説明 ・韓国の言語、文化 ・日韓経済関係 ・韓国の企業
海外派遣	朝鮮語講義	韓国経済を学ぶために必要な朝鮮語を学ぶ
	経営学部入門科目	・韓国経済入門 ・韓国ビジネス入門
	・フィールドワーク ・歴史文化社会	テコンドーの参加、伝統的なデザート作り、韓服の着用体験、釜山のビーチサイド訪問
	現地企業訪問	韓国企業2社程度（調整中）
	学生交流	派遣先大学の学生との交流会（バディ制度あり）
事後講義	事後講義	韓国の経済・経営に関する学習成果の個人報告

※上記内容は、開講年度により変更となる場合があります。







週間スケジュール例

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	週末
午前	朝鮮語	朝鮮語	朝鮮語	朝鮮語	朝鮮語	現地学生との交流及び自由時間
午後	韓国経済・経営（講義）	企業訪問	韓国文化体験	韓国経済・経営（講義）	フィールドワーク	
放課後	現地学生との交流及び自由時間	現地学生との交流及び自由時間	現地学生との交流及び自由時間	現地学生との交流及び自由時間	現地学生との交流及び自由時間	

※上記内容は、開講年度により変更となる場合があります。

（1）BSA I Plusの特徴

BSA I Plusは、カリフォルニア大学デービス校のDivision of Continuing and Professional Education - Internationalが実施するEntrepreneurship and International Business Program for Ritsumeikan Universityに参加し、ビジネス英語力の向上と多国籍企業で働く際のスキルの向上、および革新的な企業の取り組みなどを少人数クラスで学ぶことのできるプログラムです。立命館大学以外の日本の大学をはじめ、世界各国の学生が参加するプログラムであり、プログラムを通じて国際交流や異文化理解も経験できます（各国の参加大学は年度によって異なり、本学のみの参加となる場合もあります）。

（2）応募資格

①経営学部生であること。＊大学院生は対象外
②応募時に以下の語学基準のいずれかを満たしていること。
　語学基準：TOEFL iBT®テスト57点／TOEFL ITP®テスト480点／
　　TOEIC®L&RテストもしくはTOEIC®L&R IPテスト550点以上
③2回生以上の応募者は累積もしくは直近セメスターのGPAが2.5以上であること。
④本プログラムの趣旨・目的を理解し、事前講義・現地学習・事後講義のすべてに参加可能であること。
⑤派遣先大学での学習および課外活動について、多大な関心と意欲を持っていること。

※派遣者の決定にあたっては、上記応募資格を満たした応募者に対し、書類審査および面接審査を実施します。

（3）派遣先

コース	派遣先大学	所在地	実施期間	募集人数	宿泊施設
アメリカ	カリフォルニア大学 デービス校	アメリカ・カリフォルニア州 デービス市	8月上旬～9月上旬 （約1ヶ月間）	20名	学生寮

（4）参加費用・奨学金

①参加費用
　参加費用は全額個人負担となります。実習費、課外活動費、宿泊費、食費（別途実費負担の場合あり）、渡航費などが含まれます。物価の上昇、為替相場の変動によって納付する参加費用が変動します。

■過年度実績
　※奨学金支給額は含んでいません。
　※参加人数や情勢による費用の変動があるため、正式な参加費用は派遣者決定後（7月初旬頃）に通知します。

コース	2024年度	2023年度
BSA I Plus	119万9千円	105万2千円

■参加費用（経営学部への納付金額）に含まれるもの
・航空券代
・実習費および課外活動費
・教材費
・滞在費用（学生寮）
・受入大学の施設使用料（インターネット、図書館など）
・空港から現地大学までの往復送迎費用
・朝、昼、夕の食費
・現地大学の指定保険加入費用
・危機管理サービス加入費用

■参加費用に含まれないもの
・現地での交通費
・自転車レンタル費用、クリーニング代、通信費、土産代などの雑費
・ESTA申請費用
・オプショナルフィールドトリップにかかる費用（現地申込）
・海外旅行保険加入費用（大学指定の保険加入が必須です）

②奨学金
　立命館大学では、留学プログラムに参加する学生に「立命館大学海外留学チャレンジ奨学金」を支給しています。この奨学金は、参加費用の一部を補助することにより、プログラムへの参加・修了を奨励する制度です。なお、奨学金の支給額は今後変更になる可能性がありますので、あくまで参考としてください。
　※該当する奨学金は参加費用の一部として充当し、参加費用請求時に以下の金額を差し引いて通知します。

コース	奨学金支給金額（予定）
BSA I Plus	10万円

（5）受講登録

・受講登録は、経営学部事務室にて一括登録を行います。皆さんが登録する必要はありません。
・年間受講登録制限単位数の制限外で登録を行います。
・受講登録後の辞退は、成績評価がF評価となります。

（6）事前講義・事後講義

事前講義・事後講義共に、プログラムの一部として単位授与の対象となり、担当教員の許可を得ずに事前講義または事後講義を1回でも欠席すると、派遣先大学での留学参加および単位を認めない場合がありますので、必ず出席してください。

・事前講義：95分×4回程度（6月～7月）
・事後講義：95分×1回程度（10月～12月）
※その他関連ガイダンス（派遣者ガイダンス、保健センターガイダンス、危機管理ガイダンス、BSA結団式など）にも必ず出席してください。

（7）単位授与と成績評価

・成績評価：A＋、A、B、C、F評価のいずれかとなります。

■このプログラムは下表の科目で単位授与されます。
（※入学年度・適用カリキュラムによって授与分野・科目名が異なります。十分に確認して履修計画を立ててください。）

2022年度以降入学者

		カリフォルニア大学デービス校
国際経営・経営学科（両学科）	分野	専門科目 （自学科・自コース以外）
	科目名	外国留学特修科目
	単位数	6単位
	合計	6単位

※2021年度以前入学生は、学修カリキュラムが異なるため、経営学部事務室に問い合わせください。

（8）プログラム紹介・学生体験記





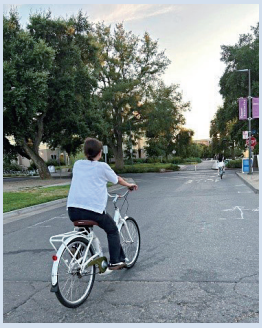
アメリカ・カリフォルニア州
■デービス市の特徴：
　デービス市は、アメリカ合衆国カリフォルニア州の中央部南に位置する人口6.5万人の都市である。自転車道が整備されており緑豊かな都市で、また、全米のなかで教育程度の高い都市として知られている。

カリフォルニア大学デービス校
■創立：1905年
■学生数：約33,000人
■大学の特徴：
　UC Davisは、カリフォルニア州の州都であるサクラメントと高度技術イノベーションの発祥地であるサンノゼの間に位置し、エネルギー、バイオテック、バイオ医療の基礎から応用分野に及ぶ研究で広く知られている大学です。大学周辺には、新興企業から国際的な大企業まで多くの企業が存在しており、グローバルビジネスの仕組みを学ぶのに非常に適しています。また、アメリカ国内におけるクリーンテクノロジーの4大都市のうちの3都市（サンフランシスコ、サンノゼ／シリコンバレー、サクラメント）に位置し、起業家精神の中心となっています。

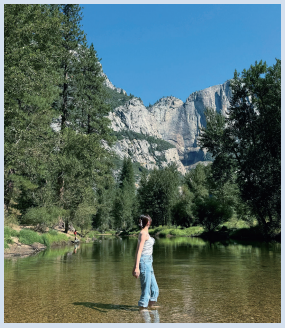
プログラム構成

	科目
1	Intercultural Business Research Project
	・英語での効果的なオーラル＆ビジュアルプレゼンテーションスキルを学ぶ ・コミュニケーション及びインタビュースキルの向上 ・データの調査、収集、整理 ・協調性とリーダーシップのスキル強化
2	Hot Topics in Global Business
	・グローバルビジネスをテーマとする記事、レクチャー、視聴覚教材を用いて論理的かつ批評的な考え方を養う ・異文化マネジメントへの理解を深める ・ビジネス界の未来を変えるイノベーション・サステナビリティ・アントレプレナーシップの最近のアプローチを学ぶ
3	Introduction to Entrepreneurship in the U.S.
	・研究開発の初期段階とベータテストについて学ぶ ・ビジネスとマーケットトレンド、データとレポートなどを分析するスキルを身につける ・様々なビジネス状況を評価する ・推奨されるアクションについて議論する ・実践的なロールプレイ ・仕事を探す際の柔軟性について考える
4	Problem-Solving through Design Thinking
	・ソフトスキルを通して問題を構成し、複雑な問題に取り組む ・非線形デザイン思考を理解する ・インタラクティブなプロセスを通してチームワークとリーダーシップを育む ・人間のニーズに応えるクリエイティブな解決策を見出す
5	Guest Lectures and Site-Visits
	・毎週、地元企業（大企業および新興企業）を訪問する、もしくはゲストスピーカーによる講義を受ける ・UCデービスの教授陣や地元企業の専門家による講義を通し、ビジネス慣行におけるイノベーションと持続可能性、起業家精神に関する知識を深める

※上記内容は、開講年度により変更となる場合があります。







週間スケジュール例

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	週末
午前	ビジネス・異文化学習の授業	ビジネス・異文化学習の授業	ビジネス・異文化学習の授業	ビジネス・異文化学習の授業	講演会や会社見学	観光
午後	ショッピング	友達とジム	ランチを食べに行く	街にお出かけ	近くの遊園地へ	
夜	寮で友達と雑談	課題	課題	課題		

※上記内容は、開講年度により変更となる場合があります。

留学体験記

国際経営学科　1回生　2024年度派遣者
留学先：カリフォルニア大学デービス校
留学期間：約1ヶ月間

留学で学んだ考え方

　この留学を通じて、置かれた環境の中で最大限に成長するための、積極性や勇気を学ぶことができました。このプログラムでは、私は8人の仲間と共に渡航しました。同じ寮に住み、同じクラスに所属していたため、このまま毎日一緒に行動していたら現地で友達ができないのではないか、という焦りを初日から感じていました。そこで、私たちは朝の登校から夜の帰寮まで、できるだけ個別行動をとることにしました。異国の地で一人で友達を作るのは、正直なところ、不安が大きかったです。しかし、食堂で昼食をとっている子に「一緒に食べよう」と声をかけてみたり、外のベンチで休んでいる子と雑談したりと、ほとんどの空き時間を友達作りに費やしました。そうした努力を続けるうちに、いつの間にか現地の友人たちの輪の中に入ることができました。デービスの街並みを案内してくれたり、帰国の際にはお別れ会を開いてくれたりと、かけがえのない友人に出会うことができました。また、新しい友達をどんどん作っている仲間たちの姿を見て、自分も刺激を受け、切磋琢磨することができました。留学に行くだけで英語力が自然に上がるわけではなく、自分の行動次第で、いくらでも成長できると実感しました。この経験は、私にハングリー精神を育む貴重な機会となりました。殻を破ってみたい方や、自分に少し自信がない方こそ、一歩踏み出してみてください。飛び込んでしまえば、あとは自分の行動次第で、かけがえのない経験が得られます。

大学生活での発見

　カリフォルニア大学デービス校での生活で、私が衝撃を受けた文化が二つあります。一つ目は、健康維持の方法です。留学中は基本的に三食を食堂でとりますが、友人の多くは毎日ほとんど同じメニューを選んでいました。朝は大量のスイカとオムレツ、昼と夜はしっかりとした食事に加え、かなり甘いデザートを楽しんでいました。しかし、彼女たちはその分、しっかりとジムに通って運動をしています。カリフォルニア大学デービス校には、二階建ての大きなジムがあり、多くの学生が通いながら運動習慣を身につけています。私も友人に誘われて、朝のトレーニングをしたり、バドミントンを楽しんだりしました。また、街のように広いキャンパス内では自転車を漕いで移動します。「しっかり栄養を摂り、しっかり体を動かす」―これがデービス校の学生たちの健康の秘訣であると学びました。二つ目は、学生たちの勉学に対する真摯な姿勢です。私たちが渡航した8月から9月初旬は、現地の大学では長期休暇にあたる時期でした。そのため、私たちは入学を目前に控えた1回生やキャンパス内でアルバイトをしている学生たちと共に過ごしていました。入学前の1回生たちは、すでに大学のプログラムに参加しており、週に5日、授業を受けるだけでなく、週末にグループプロジェクトにも取り組んでいました。課題も多く、私も図書館にこもり、一緒に勉強したことがあります。しかし、彼らは貴重な夏休みを費やしていることを気に留めず、黙々と熱心に取り組んでいました。「この大学で勉強できること自体が誇りだ」と言う話を聞き、学ぶ環境が与えられていることへの感謝の気持ちを改めて再認識しました。この留学では、私の世界観が広がっただけでなく、日々の小さな出来事の中にも新たな発見をすることができました。

※先輩体験記より抜粋

過年度派遣学生からのコメント

・整った環境の中で、ビジネスを学びながら現地の学生との交流、さまざまなイベントやツアーへの参加など、本当に多くの経験ができたので、人生で1番充実していたと言い切れるような1ヶ月を過ごすことができた。

・大学での授業に支障をきたすことなく、夏休みを利用して行くことができる留学プログラムです。英語力だけでなくグローバルなビジネスを学ぶことができます。海外の文化に触れて、日本ではできない貴重な経験をしてみませんか。

・授業が午前中だけで、昼からは自分で考えて行動できる時間が十分にあり、充実した留学にするかは自分次第でしたが、それがより自分の行動力を高めることができたので良かったです。






4．BSA II ・IVについて

（1）BSA II ・IVの特徴

BSA II およびIVは、2回生以降に参加できる海外留学プログラムです。1〜3セメスターの期間、ビジネススクールや経営学部を有する海外の大学で経営学に関する専門科目を多言語で受講し、ビジネスで使える高度なコミュニケーション能力や、国際経営の専門知識の修得を目指します。

共通	・経営系の大学やビジネススクールで、各自の経営学の専門分野に応じた正規留学科目を受講することができます。 ・原則として、派遣先大学では英語で開講される授業を受講します。派遣先大学によってはその派遣先国の言語で開講される授業も受講できます。また、各自の語学レベルによっても、派遣先国の言語で開講される授業の受講が許可される場合があります。	BSA II	1セメスターの交換型留学
		BSA IV	2セメスター、3セメスターの交換型／派遣型留学

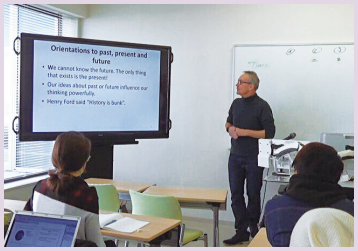
（2）応募資格

①原則として、応募時に経営学部1〜3回生であること。
・大学院生は対象外。BSAIV1.5年プログラムへの応募者は1回生であることが望ましい。
・対象回生については、別途、募集要項を参照のこと。
・特に3回生以上の応募については、事前に必ず経営学部事務室国際担当に相談の上、応募準備をすすめること。
②累積もしくは直近セメスターのGPAが2.75〜3.0以上であること。
③原則として、応募時に語学要件を満たしていること。
※詳細は「(3) 派遣先一覧」の語学基準欄を参照してください。
④本プログラムの趣旨･目的を理解し、留学前、留学後に行われるガイダンスやオリエンテーション、現地での学習のすべてに参加可能であること。
⑤派遣先の留学プログラムについて、多大な関心と意欲を持っていること。
⑥留学直前のセメスターの学籍状態が「在学」であること。

※派遣予定者の決定にあたっては、上記応募資格を満たした応募者に対し、書類審査および面接審査を実施します。

経営学部では、中・長期留学予定学生が留学派遣先大学でより充実した学習ができるよう、留学前もしくは留学後の教育として、英語および中国語による「プロジェクト研究（GBLプログラム型）」を開講しています。GBLとはGlobal Business Leadershipの略称で、「プロジェクト研究（GBLプログラム型）」とはグローバルな視点に立って世界を舞台に活躍するビジネスリーダーの育成を目標に設計されている科目です。BSAプログラムおよび全学留学プログラムで海外に留学に行く学生は、プロジェクト研究（GBLプログラム型）をぜひ受講してください。






FAQ

Q BSAプログラムと全学募集プログラム（国際教育センター主管の留学プログラム）はどう違いますか。

A BSAプログラムは経営学部によって運営されています。一方、全学募集プログラムは、国際教育センターによって運営されています。また、BSAプログラムではビジネススクールや経営学部を有する海外の大学に留学し、経営の専門知識を修得することに重点が置かれている点が特徴です。

Q BSAプログラムと全学募集プログラム（国際教育センター主管の留学プログラム）を併願することはできますか。

A 同じ期間に実施される留学プログラムの選考に応募・合格している場合は、同期間のプログラム（全学募集プログラム・BSAプログラムの別を問わず）に応募できません。同じ期間に実施されるプログラムへの応募を希望する場合は、応募・合格しているプログラムの辞退を申し出た後で、応募してください。

（3）派遣先一覧

国	派遣先大学名（所在地）	派遣時期（※1）		派遣人数（※2）	GPA	語学基準（※3）
		II	IV			
中国	大連外国語大学（大連）	〈夏出発〉8月下旬～翌年1月中旬 〈春出発〉2月下旬～7月中旬	〈夏出発〉8月下旬～翌年7月中旬 〈春出発〉2月下旬～翌年1月中旬	3名程度	2.75以上	派遣までにHSK4級（180点以上）または中国語検定3級を取得することが望ましい
中国	対外経済貿易大学（北京）	〈夏出発〉8月下旬～翌年1月中旬 〈春出発〉2月下旬～7月中旬	〈夏出発〉8月下旬～翌年7月中旬 〈春出発〉2月下旬～翌年1月中旬 〈春出発1.5年〉2月下旬～翌年7月中旬	2名程度（※4）	2.75以上	【中国語基準での応募】 II：HSK5級（180点以上） IV：派遣までにHSK4級（180点以上）を取得することが望ましい 【英語基準での応募】 TOEFL iBT®テスト72点以上 または IELTS 5.5以上（※5）
カナダ	カモーソンカレッジ（ビクトリア）	〈夏出発〉8月下旬～12月下旬	〈夏出発〉8月下旬～翌年4月下旬	2名程度	3.0以上	TOEFL iBT®テスト78点以上（各項目19点以上） または IELTS 6.0以上（各項目5.5以上）
ニュージーランド	オークランド工科大学（オークランド）	〈春出発〉2月中旬～6月下旬	IVなし	4名程度	3.0以上	TOEFL iBT®テスト80点以上 または IELTS 6.0以上（各項目5.5以上）
タイ	タマサート大学ビジネススクール（バンコク）	〈夏出発〉8月上旬～12月下旬	〈夏出発〉8月上旬～翌年5月下旬	3名程度	3.0以上	TOEFL iBT®テスト79点以上 または IELTS 6.0以上
スウェーデン	ストックホルム大学ビジネススクール（ストックホルム）	〈夏出発〉8月下旬～翌年1月中旬	〈夏出発〉8月下旬～翌年6月上旬	3名程度	2.75以上	TOEFL iBT®テスト79点以上 または IELTS 6.0以上
フランス	ストラスブール大学EMストラスブールビジネススクール（ストラスブール）	〈夏出発〉8月下旬～12月下旬	〈夏出発〉8月下旬～翌年5月上旬	3名程度	2.75以上	TOEFL iBT®テスト72点以上 または IELTS 5.5以上
ドイツ	ブレーメン州立経済工科大学（ブレーメン）	〈夏出発〉9月下旬～翌年3月上旬	〈夏出発〉9月下旬～翌年7月下旬	3名程度	3.0以上	TOEFL iBT®テスト71点以上 または IELTS 5.5以上
ドイツ	アーヘン応用科学大学（アーヘン）	〈夏出発〉9月上旬～翌年2月下旬 夏期集中ドイツ語コース含む 〈春出発〉3月上旬～7月下旬 春期集中ドイツ語コース含む	〈夏出発〉9月上旬～翌年7月下旬 夏期集中ドイツ語コース含む	3名程度	3.0以上	IELTS 5.5以上
スペイン	アルカラ大学（マドリード）	〈夏出発〉8月下旬～翌年1月下旬	〈夏出発〉8月下旬～翌年6月上旬	3名程度	2.75以上	以下の【英語】と【スペイン語】基準を両方、満たすこと 【英語】TOEFL iBT®テスト72点以上 またはIELTS 5.5以上 【スペイン語】CEFR　B2レベル
イギリス	セントラルランカシャー大学（プレストン）	〈夏出発〉9月中旬～翌年1月下旬	〈夏出発〉9月中旬～翌年5月下旬	2名程度	2.75以上	IELTS 6.0以上（各項目5.5以上）
【派遣型留学】イギリス	レディング大学（レディング）	II なし	〈夏出発〉9月上旬～翌年4月上旬	10名程度	2.75以上	IELTS for UKVI 5.0以上

（※1）　派遣時期は若干ずれることがあります。
（※2）　BSAIVで学生を派遣する際の派遣人数を記載しています。オークランド工科大学のみ、BSA II で学生を派遣する際の派遣人数を記載しています。
（※3）　語学基準は変更になる場合があります。申し込み前に必ず募集要項を確認してください。ただし、母国語を中国語とする方は中国語基準での応募はできません。
（※4）　中国・対外経済貿易大学の春出発1.5年の派遣人数は1名です。
（※5）　中国・対外経済貿易大学に応募される場合は、中国語基準か英語基準のいずれかの基準を満たしていれば応募可能です。

FAQ

Q 自分の語学力で海外の大学の講義についていけるか不安ですが、大丈夫でしょうか。

A 出願要件をクリアしているのであれば、語学力について必要以上に心配することはありません。ただし、あくまでも上記基準はプログラム応募にあたっての基準スコアです。派遣先への申請時や派遣先での科目履修の際、上記応募時の基準以上の語学力を要求している派遣先もあります。上記応募基準を満たし、派遣予定者に内定した後も語学力の向上を目指してください。また、留学開始直後は、慣れない授業スタイルや大量の課題に苦しむ学生が多いのも事実です。その際には、積極的に留学先の先生や職員と相談することをお勧めします。受身にならずに自ら解決策を探そうとすることが大切です。試行錯誤して努力することを通して、自分に合う方法が見つかるはずです。また、英語以外の言語を公用語とする大学への留学を希望する場合は、英語だけでなく、派遣までに現地公用語の学習にも、ぜひチャレンジしてください。派遣先の生活環境によっては公用語を一定程度習得しておいた方が、生活面での心配が軽減されます。

（4）費用・奨学金

①費用

交換型留学の場合には、学費は本学と派遣先大学との間で相殺となるため、留学先大学で学費を納入する必要はありません。

■主な費用

・包括海外旅行保険費用（大学指定の保険加入が必須です）
・危機管理サービス加入費用
・ビザ取得のためにかかる費用（国・地域によって費用が異なるので事前に確認してください）
・渡航費（航空券）
・現地出入国税、空港税、航空保険料
・宿泊費（寮・アパート等）および申請費
・現地での交通費
・教材費等
・生活費（食費・光熱費等）
・クリーニング代、通信費、土産代などの雑費
・娯楽費
・医療費（特に現地での歯の治療費用は海外旅行保険の適応外となり、日本の数十倍になる場合があります）

■注意点

・滞在先の手配は派遣者自身で行います。派遣先大学の事情により、学生寮に必ずしも入れるとは限りません。（滞在先が保証されたプログラムではありません。）
・費用は物価の上昇、為替相場や情勢によって変動しますので、あくまでも参考としてください。
・レディング大学は「派遣型留学」のため、本学に所定の授業料を納めたうえで、レディング大学の授業料も納入する必要があります。

〈主な費用の過年度実績値〉※個人差があります。※生活費に娯楽費は含みません。

派遣先大学	費用例（過年度参考）		
	年度	期間	派遣者実績
大連外国語大学	2023	II	寮費　：約9,000元 生活費：約14,000元 保険料：約300元
対外経済貿易大学	2023	IV	寮費　：約15,000元 教材費：約450元 生活費：約15,000元
オークランド工科大学	2023	IV	寮費　：約1,100,000円 生活費：約750,000円 保険料：約75,000円
タマサート大学 ビジネススクール	2024	II	寮費　：約55,000バーツ 生活費：約85,000バーツ
ストックホルム大学 ビジネススクール	2023	IV	寮費　：約50,000クローナ 教材費：約500クローナ 生活費：約50,000クローナ
ストラスブール大学 EMストラスブール ビジネススクール	2024	II	宿泊費：約1,600ユーロ 生活費：約3,000ユーロ
ブレーメン州立 経済工科大学	2023	IV	宿泊費：約6,100ユーロ 生活費：約3,000ユーロ 保険料：約1,200ユーロ
アーヘン応用科学大学	2023	II	寮費　：約2,000ユーロ 生活費：約2,400ユーロ 保険料：約600ユーロ
アルカラ大学	2023	II	寮費　：約3,300ユーロ 生活費：約1,700ユーロ 保険料：約250ユーロ
レディング大学			■ International Foundation Course （IFP Course／9月～4月） ※コースの詳細はP.34を参照 授業料：約15,150ポンド 寮費　：約5,056～6,680ポンド（32週で計算） 教材料：約100ポンド 生活費：約2,000ポンド ※教材費、生活費は2018年（旧カリキュラム）にIVで派遣された学生の実績です。

※カモーソンカレッジ・セントラルランカシャー大学は、2024年度夏出発から派遣開始の新規協定のため実績なし。

②奨学金

■立命館大学海外留学チャレンジ奨学金

原則として派遣者全員に「立命館大学海外留学チャレンジ奨学金」が支給されます。なお、奨学金は派遣者の渡航を確認後、派遣中に派遣者本人名義の口座に支給されます。

プログラム名	派遣先大学	奨学金金額
BSA II	大連外国語大学	15万円
	対外経済貿易大学	
	カモーソンカレッジ	25万円
	オークランド工科大学	
	タマサート大学ビジネススクール	
	ストックホルム大学ビジネススクール	
	ストラスブール大学 EMストラスブールビジネススクール	
	ブレーメン州立経済工科大学	
	アーヘン応用科学大学	
	アルカラ大学	
	セントラルランカシャー大学	
BSAIV	大連外国語大学	20万円
	対外経済貿易大学	
	カモーソンカレッジ	30万円
	タマサート大学ビジネススクール	
	ストックホルム大学ビジネススクール	
	ストラスブール大学 EMストラスブールビジネススクール	
	ブレーメン州立経済工科大学	
	アーヘン応用科学大学	
	アルカラ大学	
	セントラルランカシャー大学	
BSAIV 【派遣型留学】	レディング大学	30万円
BSAIV1.5年	対外経済貿易大学	35万円 （※ただし1年経過後に別途審査あり）

※奨学金の金額は変更となる場合があります。

■立命館大学海外留学サポート奨学金

経済上の事由により、プログラムへの参加または参加継続が困難であることが見込まれる者に対し、参加費用の一部を補助することで、参加の支援を行うことを目的とする制度です。

海外留学サポート奨学金には、「予約採用型」「家計急変型」の2つのタイプがあり、いずれも要項に定められた家計基準を満たす場合に、奨学金選考の対象となります。支給額や申請・選考方法などの詳細は、以下を確認してください。

外国留学プログラムHP（奨学金ページ）
https://secure.ritsumei.ac.jp/studyabroad/planning/scholarship/

■JASSO（独立行政法人日本学生支援機構）海外留学支援制度

立命館大学から支給される奨学金とは別に、JASSO（独立行政法人日本学生支援機構）が所管する奨学金に採択された派遣国がある場合は、別途受給要件を告知した上で選考を行います。

※奨学金によっては併給できないものがあります。事前に経営学部事務室またはOIC国際教育センターに確認を行ってください。

（5）学籍と受講登録

①学籍

BSA II ・IVにて留学する際に、立命館大学での学籍が「在学」から「留学」に変更になる期間は、以下の通りです。

派遣先大学	出発	学籍上の留学期間		
		BSA II	BSAIV	BSAIV1.5年
大連外国語大学	夏	秋学期	秋学期～翌年度春学期	―
	春	春学期	春学期～秋学期	
対外経済貿易大学	夏	秋学期	秋学期～翌年度春学期	―
	春	春学期	春学期～秋学期	春学期～翌年度春学期
カモーソンカレッジ	夏	秋学期	秋学期～翌年度春学期（※1）	―
オークランド工科大学	春	春学期	―	―
タマサート大学ビジネススクール	夏	秋学期	秋学期～翌年度春学期	―
ストックホルム大学ビジネススクール	夏	秋学期	秋学期～翌年度春学期	―
ストラスブール大学EMストラスブールビジネススクール	夏	秋学期	秋学期～翌年度春学期（※1）	―
ブレーメン州立経済工科大学	夏	秋学期	秋学期～翌年度春学期	―
アーヘン応用科学大学	夏	秋学期	秋学期～翌年度春学期	―
	春	春学期	―	
アルカラ大学	夏	秋学期	秋学期～翌年度春学期	―
セントラルランカシャー大学	夏	秋学期	秋学期～翌年度春学期	―
レディング大学	夏	―	秋学期～翌年度春学期（※2）	―

（※1）BSAIV/カモーソンカレッジ・ストラスブール大学EMストラスブールビジネススクール派遣者には、以下B.の受講登録パターンが適用される可能性があります。
（※2）BSAIV/レディング大学派遣者には、以下A.もしくはB.の受講登録パターンが適用される可能性があります。

②受講登録

■春学期に帰国する学生は、以下の点に留意してください。
留学から帰国後、「留学終了届」が受理されたタイミングで受講登録できる科目が変わります。

A.【春学期授業開始日までに留学終了届が受理された派遣者】
在学生と同じ日程で受講登録をしてください。

B.【4月30日以前に留学終了届が受理された派遣者】
留学終了届の受理が立命館大学春学期授業開始日を過ぎる場合は、受講可能な科目に制限があるため、注意してください。
→春学期科目・通年科目のうち、教養科目・外国語科目の受講は不可。専門科目のうち一定の科目を除き受講可能。受講可能科目の詳細及び登録方法は、登録時期に別途案内があります。また、欠席した授業については、適宜課題等が提示されます（予定）。

C.【5月1日以降に留学終了届が受理された派遣者】
5月1日以降に留学終了届が受理された場合は秋学期からの復学となるので、秋学期以降に受講が可能となります。
※ただし、夏集中科目およびクオーター的運用をしている科目等については、「留学終了届」が当該科目の授業開始日までに受理され、実質的に受講可能な場合は受講が認められます。
※以下の科目については授業初回までに留学終了届が受理されていれば受講可能です。
春集中科目・夏集中科目（他学部科目を含む）・通年科目（一部）

■注意点

・時間割及び「履修・登録の手引き」は、manaba+Rに掲載されます。必ず各自で確認をし、必要な手続きをしてください。
・登録方法、期間、締切り時間は全て日本で登録する学生と同じ条件であり、かつ日本時間にて管理されます。
・「留学終了届」は留学から帰国後に提出が必要です。提出後、受理された場合に上記のとおり受講登録が可能となります。

（6）単位認定と成績評価

BSA II・IVの留学先で修得した単位の認定は、本人による単位認定申請を受け、学部の履修規程等に従い、派遣先大学で受講した科目の内容・レベル、授業時間数等に基づき行われます。単位認定数や単位認定分野・科目については派遣先大学や、各自の履修状況により異なりますので、ご注意ください。

・認定された単位の成績評価欄には「T」が記載されます。
・本学の単位として認定される単位数の上限は、60単位です。
※大学コンソーシアム等で受講科目の単位認定がすでに行われている場合は、その認定済み単位数を前述した上限単位数から差し引いた単位数までしか、新たに認定されませんのでご了承ください。
・単位認定に関わる申請書類および派遣先大学の学年暦と成績証明書、受講した科目のシラバス（原文および和訳）等の必要書類を各自で準備してください。

留学前に学部事務室で履修科目や単位認定について相談の上、留学前・留学中・帰国後、それぞれの学習計画を立てておく必要があります。

■過年度派遣学生の単位認定実績（参考）

派遣先大学	BSA II	BSAIV	BSAIV1.5年
カモーソンカレッジ	実績なし	実績なし	−
オークランド工科大学	実績なし	15〜20単位（※）	−
タマサート大学ビジネススクール	10〜15単位	実績なし	−
ストックホルム大学ビジネススクール	5〜10単位	6〜15単位	−
ストラスブール大学 EMストラスブールビジネススクール	5〜10単位	10〜20単位	−
ブレーメン州立経済工科大学	8〜15単位	15〜35単位	−
アーヘン応用科学大学	5〜15単位	10〜20単位	−
アルカラ大学	5〜10単位	15〜20単位	−
セントラルランカシャー大学	実績なし	実績なし	−
レディング大学	−	20〜25単位	−

（★） 単位認定数や単位認定分野・科目については、派遣先大学や各自の履修状況により異なります。
中国・大連外国語大学、対外経済貿易大学はカリキュラム変更等の事情により過年度実績と現況が大きく乖離しているため、掲載していません。興味のある方は経営学部事務室に問い合わせください。
（※）オークランド工科大学は2024年度以降、BSA II のみの派遣となります（BSAIVでの派遣はありません）。






FAQ

Q 1セメスター以上の留学をする場合、専門演習（ゼミ）の履修は可能ですか。

A BSA（正規留学プログラム）に参加する場合、留学期間中の「専門演習Ⅰ〜Ⅲ」の受講は免除されます。留学帰国後は、原則として留学前と同じクラスに所属し継続履修をする事ができます。帰国後に所定の申請書に必要事項を記入のうえ、OIC学びステーションへ提出してください。また、専門演習の募集・選考期間に留学している場合は、留学中に応募が必要です。面接等が必要な場合があるので、各担当教員の指示に従ってください。

Q 派遣先大学で履修するコースや科目を知りたいのですが、どのように確認できますか。

A 経営学部の協定校の多くは、留学生のためのホームページを開設しています。ホームページ上で、留学生が受講できるコースを参照してください。また、経営学部事務室では、過年度の派遣学生が受講していた科目リストを管理しています。留学相談の際に、参考にしてください。

（7）各派遣先大学紹介・学生体験記





大連外国語大学

国・都市：中国・大連市

中国の東海岸に位置し、中国東北遼東半島の最南端にある。緯度は日本の仙台とほぼ同じ。中国の重要な港、貿易、工業、観光の都市である。

■創立：1964年
■学生数：約15,000人
■大学の特徴：

- 中国東北地方唯一の外国語大学。漢学院、日本語学院などがあり、本校、分校、研究所など20ヶ所以上の施設を有しています。
- 漢学院は中国で最も早く中国語言語本科を設けた学校の一つであり、設立20年で30ヶ国から長期留学生約10,000人、短期留学生約4,000人を受け入れています。
- 漢学院には、中国文化と国際経済貿易の二つのコースが設けられており、中国文化コースで短期間に中国語のレベルを向上させることも可能です。
- 2013年5月より大連外国語学院から大連外国語大学へ改名されました。

過年度派遣学生体験記
（2023年度夏期 BSA Ⅱ）

大連外国語大学は非常に大きな大学であり、中国の人口の多さを感じられるうえに、北京や上海とは違う、地方の学生の実際の生活を見ることができる大学でした。大学の敷地は本当に広大で、普段、立命館大学のOICに通っている学生であれば、もはや大学とは別の施設に感じるかもしれません。例えば、大学内に食堂や図書館はもちろん、寮も美容室もスーパーも湖もあるうえに、先生方は大学内を車で移動するような場所のため、大学の外に出なくても特に不便なく生活することができると思います。逆に大学の外に出ようとすると少し不便な場所にあるので、大学の外にほとんど出ずに生活している学生が本科生・留学生を問わず多かったです。

大連は中国では観光地であり、特に夏は海やその周辺の広場など非常に多くの人でにぎわっていました。ほかにも旅順や大連市の中心部には日本やロシアとの歴史的な関係を感じさせる建物や、飲食店が多く、特に日本料理店の数は想像よりも多かったように思います。旅順は大連市の郊外にあるので、団地以外に大きな建物はあまりありませんが、市街に行けば、中国のスケールの大きさをどこでも肌で感じられると思います。また、友人から聞いた話では大連市は物価が高い方の地域らしいですが、日本よりも基本的に物価は安く、特に交通費や食費はあまり気にせず楽しめました。

中国といえば世界的に料理が有名な地域ですが、中国料理という1つの名称で表すというよりも中国の地方それぞれが独自の料理を持っているといった方が適切で、大連を含む東北地方も特色のある料理を楽しめます。東北料理は塩味が強めの味付けであることと量の多さが特徴で、個人的には中国の料理の中でも日本人向きだと思います。特に日本より辛いとはいえ、中国のほかの地域に比べれば辛い料理は少なく、また、東北の四川料理や湖南、湖北料理であれば本場より辛くないことが多いので、日本よりもむしろチャレンジしやすく、食事に不安がある人もそこまで心配する必要はないと思います。また、中国の大学の食堂は非常に大きく、選択肢がかなり多いうえに、大連外国語大学のそばには飲食店街があるので、食事の面では本当に生活しやすい環境でした。

生活必需品や衣服に関して、中国ではアマゾンのようなネット通販サイトのアリババや京東が非常に便利で、留学生活を快適に過ごすために利用している学生がほとんどでした。さらに大連外国語大学は大学内に荷物受取センターもあるため、非常に利用しやすかったです。

最後に、大連外国語大学は郊外にあるため、静かで、勉強するのに適した環境であり、先生方も優しい方が多く、飲食店の店員さんも気さくな方が多かった印象です。中国語は日本で勉強している限り、英語よりも学ぶ機会が限られてしまう言語ですが、中国にさえ来れば、中国語を話す機会も話す人も有り余るほどです。親切な人、おしゃべりな人が多い東北地方の特徴は中国の中でも学ぶのに適しており、留学先に選んでよかった、来てよかったと思っています。

※先輩体験記より抜粋

週間スケジュール例

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	週末
午前	基础	听力、基础	基础	基础、口语	口语、听力	観光
午後	自習	基础	自習	自習	自習	

※上記内容は、派遣先大学の開講年度により変更となる場合があります。

対外経済貿易大学







国・都市：中国・北京市
北京市の特徴：
　中国の首都、政治・文化の中心地である。故宮、天壇など多数の世界遺産がある。

■創立：1951年
■学生数：約18,000人
■大学の特徴：
- 北京市北東の市街区に位置し、近隣には中日友好病院や、日本でも馴染みの深いスーパー等の便利な施設があります。
- 国際経済貿易の専門家養成の高等教育機関として、中国国家プロジェクト「211工程」が初めて承認した重点大学で経済、金融、管理等の分野において一流の水準を有する大学です。
- 中国で最も早く国際学術交流を展開した大学であり、現在、世界の30ヶ国以上の国や地域にある100以上の大学や研究機構と協力交流関係を結んでいます。

過年度派遣学生体験記
（2023年度夏期 BSAIV）

実際に中国へ行き、気づいた偏見と事実の乖離

中国に対する印象は、皆さんばらばらだと思います。その印象は多くの場合、偏見であるということを知ってほしいです。例えば、安全面についてです。中国留学に行きたいと周囲の人に伝えた際に、初めに心配されることは安全かどうかです。実際、私は渡航前、コロナ禍後ということもあり、中国留学の情報が全くなく、見つかる情報もすべて古いものでした。そのため、渡航前に安全かどうか知る術はなく、私でさえ安全について不安を抱えたまま、中国に向かいました。そして、一年間北京で生活をしてわかったことは、日本と同じように安全で安心して暮らせるということです。事件や事故は日本と同様に、北京でも発生します。しかし、その数は少ないです。特に北京は街のいたるところに防犯カメラがあり、地下鉄では毎回、手荷物検査があります。さらに大学は自由に立ち入ることはできず、警備員の方がいる門を通らなければならないという厳重な警備があります。そのため、北京で生活する上では安全面について心配することはないと思います。また、日本での報道や渡航前の情報から、中国での日本人の生活はとても大変な印象がありました。しかし、北京では中国人の方が日本人に対して差別的な行動をしてくることはほとんどなく、むしろ好感をもって迎え入れてくれました。大学内では日本人と交流したいという中国人の学生がたくさんいて、何度も話しかけられることがありました。このように、渡航前に私が持っていた偏見は、実際に生活してみて、事実とは違ったことがたくさんありました。中国の人口は日本の人口の約10倍、中国の面積は日本の国土の約25倍。このような条件の中では、あなたが普段目にするニュースはごく一部にしか過ぎないのです。中国に行って、実際に感じる印象は人によって、全く違うと思います。実際に自分の目で確かめないまま、偏見のままで自分の意見とすることは残念なことだと感じます。そのため、少しでも中国に興味のある方は、実際に留学に行ってほしいなと思います。

対外経済貿易大学で多言語話者に

中国への留学は中国語しか勉強できないと思っていませんか。それは大きな間違いです。私の中国語は渡航時、日常会話が全くできないほどのレベルでした。さらに英語に関しても、中国語よりは自信があるが、かといって、日常会話はできないという留学生として最低レベルでした。しかし、寮の手続きや入学手続き、友達作りなど、多くの場面で会話を必要としました。その際、私は自分の知っている限りの英語と中国語を駆使して何とか乗り越えました。例えば、中国語も英語も話せる留学生に助けを求めたり、英語の話せる中国人の方と交流したりしました。そして授業では、中国語で中国語を勉強しながら、英語で専門的な授業を受けていました。さらに友人との会話は中国語で話したり、寮ではルームメイトと英語で会話をしていたりと、日常的に二か国語を使う生活が続きました。そのため、どちらの言語も徐々に上達していき、いつの間にか日本語も含めた三か国語話者になりました。これは中国留学の最大の魅力だと思います。そして、韓国語やスペイン語を話す人がとても多いのも特徴で、中国語や英語以外の他の言語を学びたい人にとっても、魅力的です。

対外経済貿易大学での国際色豊かな生活

対外経済貿易大学は世界中の国から多種多様な人が留学生として生活しています。世界の6つの州のすべてから学生が来ていることはもちろん、日本に住んでいると関わることの少ない国の学生も留学に来ていました。私はこんなにもたくさんの国の方と交流できる環境があるなんて想像していませんでした。例えば、中国語のクラスでは学生全員の出身地が異なり、クラス全体の国籍数が10か国以上になることもあります。私はある一日は中国人の友達とご飯を食べたり運動をし、また次の日は韓国人の友達と遊び、週末にはヨーロッパや南アメリカの方々と遊びに行ったりなど、毎週たくさんの国の友人と遊んでいました。そのため今では南アメリカのすべての国に友達がいますし、世界中のどこの大陸、どこの地域にも友人がいるという状況です。よって、世界中の人々とかかわりを持ってみたいと考える方には、とてもおすすめできる大学だと思います。

これからの人生に大きな影響を与えた留学

対外経済貿易大学への留学は、私のこれまでの経験の中で一番自分の考え方に影響を与えました。留学中の出会いで、さまざまな人の考え方や文化を吸収し、国際的な視点で物事を見ることができるようになったと思います。また、中国への留学は自分の考え方や生き方に対して、改めて考えさせられる機会だと思います。コロナ禍後で情報があまりない中、中国への留学に対して不安はとても大きいと思います。それでも、少しでも興味のある方は挑戦する勇気を持ってほしいと思います。私は挑戦した先に中国での充実した、楽しい生活が待っていました。自分の価値観やこれからの人生に、たくさん良い影響を与えてくれた中国留学に、私はとても感謝しています。

※先輩体験記より抜粋

週間スケジュール例

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	週末
午前	中国語	中国語	中国語	中国語	中国語	自習、外出
午後	自習、外出	自習、外出	Introduction of Chinese Economy and Society	Introduction of Chinese Economy and Society	自習、外出	自習、外出
夜	ジム	バドミントン	ジム	ジム	食事会、パーティー等	バドミントン

※上記内容は、派遣先大学の開講年度により変更となる場合があります。
※派遣学生の語学レベルによっては、英語開講または中国語開講の専門科目を履修することが出来ます。

オークランド工科大学





国・都市：ニュージーランド・オークランド
オークランド市の特徴：
　航空拠点であるオークランド空港とオセアニア地域有数の商業港湾であるオークランド港が所在している。海に面した地形から海上交通が栄え「City of Sails（帆の街）」の愛称で呼ばれる。

■創立：1989年
■学生数：25,000人
■大学の特徴：
- 常に将来を見据えた大学といわれ、新しい考えに満ちた学習方法が取り入れられています。
- ビジネスの実社会で役立つスキル（特にコミュニケーション能力・プレゼン能力）を身につけられる実践的な授業を展開しています。
- 教室には最新設備が取り揃えられており最大30名規模の授業を行う相互学習が可能な環境を提供しています。

過年度派遣学生体験記
（2023年度春期 BSAIV）

　私は、高校生の時に参加した語学研修の経験から、大学では長期留学をすることを決意していました。そのため大学入学後は、TOEIC®テストやIELTSなど留学に必要な英語力の向上や必要な単位数の取得に努めました。大学での学びを深めていくうちに、経営学についても学びを進めていきたいと考え、留学先で経営学を学べるBSAのプログラムを利用し留学したいと思いました。ニュージーランドを選んだのは、英語圏であったことと自然が豊かで住みやすそうな点に魅力を感じたからです。

　派遣が決まってから始まった留学準備はすごく大変でした。コロナ後、ニュージーランドが留学生を受け入れるのは初めてで、立命館大学からも派遣するのは2017年ぶりという事で、なかなかうまく進まないことも多くありました。1年間で申し込んだ留学申請が半年間で受理されたり、学生ビザは半年ずつしか取得することができなかったりと渡航する前からたくさんのトラブルが起きました。うまく進まない渡航準備にイライラし、落ち込んだ時もありましたが、ずっと待ち望んできたこの留学を嫌な気持ちでスタートしたくないと思い、気持ちを切り替えました。

　現地では、国際寮に入寮し、4人のルームメイトと生活していました。到着した次の日から、サイクロンが直撃するという事ですぐにスーパーに買い出しに行ったことを覚えています。ルームメイトと初めて会った時は緊張していましたが、みんなフレンドリーで一安心しました。家族以外の人と住むという初めての経験で不安はありましたが、たくさん楽しい時間を共有することができ、寮での生活を選んでよかったと思っています。

　オークランド工科大学は、世界中から多くの留学生が集まっており、授業ではクラスメイトと意見を交換したり、グループワークをしたりする時間が毎週あります。ただ授業に参加して講義を聴くだけではなく、各々が自分の意見を求められ、グループワークやプレゼンテーションを行うなど、学生の積極性が求められていました。常に自分はどう思っているのかを考える必要があるため、思考力が高まったと感じています。

　この留学期間中は人生で最も自分と向き合った期間でした。自分が帰国した時どうなっていたいのか、何を経験し、吸収したいのか、どんな将来を歩んでいきたいのか、たくさん考えて悩みました。何が正解で何が間違っているのかわからない中で、1つ心にとめていた言葉があります。“Everything happens for a reason.”起きる物事すべてに意味があるということです。成功も失敗もすべてに意味があり、そこから学び、成長することができます。この留学を通して経験したこと、感じたことは私の宝物であり、これからも忘れることなく、私の人生に影響を与え続けるでしょう。

※先輩体験記より抜粋

週間スケジュール例

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	週末
午前	Economics and International Business (Lecture)	Consumer Behavior	買い物			掃除
午後	Sustainability Leadership			Ethics, Responsibility and Sustainability	Economics and International Business (Workshop)	買い物
夜	自習	自習	自習	自習	交流会	自習

※上記内容は、派遣先大学の開講年度により変更となる場合があります。

タマサート大学
ビジネススクール





国・都市：タイ・バンコク
バンコクの特徴：
　王朝の歴史が深い都市でありタイ経済の中心でもある。

■創立：1951年
■学生数：15,000人
■大学の特徴：
- 法律学校をその前身とした、タイ国内で2番目に古い名門大学。首相、大臣、議員、ビジネスにおける成功者など、タイだけではなく、国際的にも貢献している多くの人材を輩出しています。
- 過去60年間徐々に拡大し社会科学、人文科学、自然科学どの領域にもコースが増設され現在では15の学部があります。
- バンコクの中心地にありチャオプラヤ川沿いのキャンパスで学びます。
- 全ての科目が英語で開講されています。General Basic Courses、Business Core Coursesに加えて、3つの専門分野（Accounting、Finance、Marketing）から科目履修が可能です。タイ人の学生に加えて、世界中から集まる留学生と一緒に学びます。

過年度派遣学生体験記
（2024年度夏期 BSA II）

私にとって、今回のタマサート大学ビジネススクールでの留学は、多くの挑戦と発見に満ちた貴重な経験となりました。これまで欧米圏に住む機会はありましたが、新たに東南アジアというゆかりの無い土地で生活する中で、文化、言語、生活様式の違いに直面し、最初は順応するのに四苦八苦しました。特に、日本との価値観や日常生活のギャップに驚き、戸惑うことも多々ありました。しかし、現地で知り合った友人や他の留学生たちの助けを受けながら新しい環境に少しずつ馴染むことができました。この過程で「異文化を受け入れ、適応する力」の大切さを実感しました。

また、他の留学生との英語力の差に愕然としたのも忘れられない出来事です。授業では、限られた時間で自身が考えるタイでの新事業を企画し、プレゼンを行う課題がありました。その中で、柔軟な発想力や相手を引き込むスピーキング力の差を痛感しました。特に、他の学生たちが条件を的確に捉え、説得力のある発表をする姿に最初は圧倒されましたが、回数を重ねる中で優秀な学生の方法を観察し、自分なりにアレンジして取り入れることで改善を図りました。その結果、留学生唯一のアジア人として存在感を発揮し、弱みを強みに変える成功体験を得ることができました。

さらに、東南アジア周辺国（カンボジア、ベトナム、ラオス）を旅する中で、現地の人々や同じく旅をしているバックパッカーと出会い、多くの刺激を受けました。東南アジアでは国ごとに文化的な特徴が異なり、それぞれの国の歴史的、文化的背景が街並みや人々の雰囲気に反映されていることを体感しました。また、旅の中で投資信託会社を経営している方や、ノマドワーカーとして場所を問わず働いているワイン販売のオーナー、医療後進国での支援を目指している他大学の学生など、さまざまな背景を持つ人々と話す機会に恵まれました。それぞれの話を聞く中で、自分のキャリアの可能性や人生の選択肢が広がり、今後の方向性を考える、良いきっかけとなりました。

この留学を通じて、異文化への適応力、困難を克服する力、そして将来を見据えた広い視野を身につけることができたと感じています。これらの経験は、これまでの生活だけでは得ることができなかった知見を私に与え、自分が海外進出する具体的な理想像を描くことができるようになりました。この貴重な経験を活かし、異なる価値観を受け入れながら柔軟に対応し、国際的な場で活躍できる人材へと成長していきたいと考えています。

※先輩体験記より抜粋

週間スケジュール例

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	週末
午前	自習	自習	Business Opportunities in Thai		掃除	旅行
午後	Operations Management	Beginning Thai Language	Human Resource Management		買い物	
夜	自習	バスケサークル	自習		パーティー	

※上記内容は、派遣先大学の開講年度により変更となる場合があります。

ストックホルム大学 ビジネススクール





国・都市：スウェーデン・ストックホルム
ストックホルムの特徴：
　ソニーモバイルコミュニケーションズ、Saab、Volvo、IKEAなどの国際企業が多数あることで知られている。

■創立：1878年
■学生数：50,000人
■大学の特徴：
- 留学生約800人、教職員約6,000人を数えます。ストックホルム大学はスウェーデンの最大かつトップレベルの大学であり、ビジネススクールも、北欧ではトップレベルにランクされています。
- ビジネススクールには5,000人以上の学生が所属しています。なお授業は全て英語で行われます。
- ストックホルム大学ビジネススクールの卒業生の多くが様々な国際企業で働いています。親日感情が強く、日本人にとって大変生活しやすい国だと言われています。普段の生活でも英語はよく通じます。

過年度派遣学生体験記
（2023年度夏期 BSAIV）

　スウェーデンのストックホルム大学。名前の響きがかっこいいという単純すぎる理由から興味を持ち、後に美しい自然や文化に惹かれて、留学に行くことを決めました。そこで私は、かけがえのない仲間たちと共に、かけがえのない思い出を作ることができました。
　スウェーデンのほとんどの人は英語が上手なので、留学前に特に不安になることはありませんでした。また、空港には大学が迎えに来てくれるので、寮に辿り着けないという心配も全く不要でした。寮はラピスが一番おすすめです。近くには海や森があり、そこで頻繁にイベントが開催されます。本キャンパス（Frescati）へは歩きで行くことができ、ビジネススクールのキャンパス（Albano）へはバス一本、中央駅へはメトロ一本でいけます。ガムラスタンなどの観光地がとても近く簡単に行けるので、暇つぶしによくブラブラしていました。寮に到着してからは、まずフロアメイトたちに挨拶をしました。早くみんなに会いたくて、キッチンに居座り、「キッチン、めっちゃ汚いね」などと愚痴を言い合っていると、すぐに打ち解けました。次の日には、そのフロアメイトたちと一緒に中央駅（T-Centralen）近くのIKEAに行き、布団やシーツを買い揃えました。なんともスウェーデンらしいエピソードだと思います。
　フロアメイトたちは、留学中で最も多くの時間を共有した、大切な仲間になりました。互いの料理に勝手に味付けをしたり、キッチンでダラダラと時間を過ごしたりする日々は、かけがえのない思い出です。秋になるとオーロラが見られる季節になります。観測確率が高まると通知を送ってくれる「Aurora」というアプリがあり、その通知が鳴ると、何をしていても、フロアメイトと一緒に寮の裏にあるビーチまで毎回ダッシュしていました。５回ほど見ることができました！見つけると夢が叶うと言われる「ラピスボックス」を探したりと、くだらなくも忘れられない日々を過ごしました。これらの思い出のほかにも、日本語カフェやSSIF（会員制でさまざまなスポーツが楽しめる施設）、現地のお祭りなど、数えきれないほどのイベントがありました。全てを挙げるには時間が足りないほどです。
　学習面では、スウェーデンの授業の進め方は特殊で、１ヶ月で１つのコースを行うという形になっていました。セメスター終わりに全部が押し寄せてくるようなことがないのはありがたいことでしたが、毎月末みんなで怪訝な顔をしていたことをよく覚えています。また、調べ物をしたり、Zoomで会議したりと授業時間外でのワークが多かったです。しっかりと予習して、自分の意見を持つようにしていたら問題なく授業についていけます！
　留学中の穏やかで楽しい毎日は、自分の好奇心に従ったからこそ過ごせたと思います。むしろ、もっと好奇心を大切にすれば良かったとさえ思います。
　楽しすぎる留学は、あっという間です。ぜひ、自分の好奇心に身を委ねて、危なくない範囲で思い切り飛び込んできてください！
※先輩体験記より抜粋

週間スケジュール例

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	週末
午前	Lecture	買い物	お出かけ	お出かけ	Lecture	爆睡
午後	Seminar	Lecture	キッチンで遊ぶ	グループワーク	Seminar	お出かけ
夜	ムービーナイト	バドミントン	筋トレ	課題	ムービーナイト	パーティー

※上記内容は、派遣先大学の開講年度により変更となる場合があります。
※上表は「Entrepreneurship in Societal Change」のスケジュールです。
＜参考＞留学期間中の受講科目
1学期目　9月 Corporate Responsibility、10月 Entrepreneurship in Societal Change、11月 Human Resource Management、12月 Performance Management
2学期目　1月 Global Markets、3月 Business, Politics and Culture、4月 Internet Marketing、5月 B2B Marketing and Sales

ストラスブール大学
EMストラスブールビジネススクール





国・都市：フランス・ストラスブール
ストラスブールの特徴：
　ストラスブールはパリからTGVで約2時間、フランクフルト国際空港からバスで約2時間に位置する。

■創立：1631年
■学生数：30,000人
■大学の特徴：
・ストラスブール大学はその歴史を16世紀にさかのぼるフランス有数の大学で、法、政治、マーケティング、コミュニケーション、ジャーナリズム、科学技術の教育を提供しており、今日に至るまで様々な分野の人材を輩出してきました。
・ビジネススクールはEM（Ecole de Management）ストラスブールビジネススクールとして知られ、52もの国と協定を結び、学生の3分の1が世界各国からの留学生で形成されている国際色豊かな機関です。

過年度派遣学生体験記
（2024年度夏期 BSA II）

憧れの留学
　私が学生生活で必ず実現させたかったことは、留学でした。
　その理由は、自分自身の好奇心を探究したかったからです。海外に住み、異文化に触れること、他国の教育に触れること、自分自身の能力を試すことにずっと興味があったからです。そして、BSAに決めた理由は、1学期間の選択肢があることと単位認定をしてもらえる交換留学であることです。

素敵な街、ストラスブールでの生活
　最初に感想を一言でまとめると、帰りたくなかった！です。
とても素晴らしい街で、学び、遊び、貴重な経験をさせてもらうことができました。
　最初の１週間はオリエンテーションウィークで、そこでたくさんの人と出会って話しました。そのおかげで友人もでき、現地の生活にも慣れました。
　ストラスブールは、治安も悪くなく、交通も便利、観光地として栄えながらも住みやすい学生の街でした。私は寮で一人暮らしをしていました。私の寮は、シャワー、トイレ、キッチンは全て部屋にあり、共有スペースはほとんどありません。学校からは少し離れていて、トラムで25分ほど、自転車で15分でした。ストラスブールは、自転車に優しい街として知られていて、自転車道が整備されており、たくさんの自転車が走っています。私も自転車をレンタルして、それで通学していました。食事は、基本的に自炊か学食でした。持ってきた日本食を持って帰るほど、食事で悩むこともなく、むしろ小麦製品、フルーツや乳製品など農業大国のフランスならではの安い食料品を堪能していました。毎週、友人と放課後にベーカリーやパティスリーに行くことが楽しみとなっていました！

スピーキングに苦戦
　授業は、1週間に5コマほどでした。フランス人教授の英語がゆっくりなおかげで、私にとっては学びやすかったです。ただ、やはり大学の授業なので単語はアカデミックでハイレベルでした。そして、一緒に授業を受ける留学生の英語のレベルが高かったです。ヨーロッパからの留学生も多く、英語のレベルが高く、ついていくのが大変でした。授業内ではグループワークが多かったのですが、クラスメイトに自分の意見を伝えられず、自分のスピーキング能力の低さと自信のなさ、勇気のなさに頭を抱えました。これらをこれからの英語学習の課題とし、克服できるように勉強し続けたいと思います。

留学の意義
　フランスで気づいたことは、ずばり人間らしい生活の仕方です。ストラスブールでは、日曜日にほとんどのお店が閉まりました。24時間営業のコンビニや年中無休のショッピングモールを当たり前にしていた日本人の私には信じがたかったです。では日曜日に何をするのだ、と思いました。そこで、ある天気の良い日に大きな公園に行ってみました。そこには、家族で散歩をしたり、ベンチで読書をしたり、友達とピクニックをしたり、ギターを演奏していたりする人たちがいました。特に変わったことではないのですが、私はとても素敵な文化だと感じました。その時の公園の賑わいと美しさがとても印象的で忘れられません。商業的なところから離れて、人間らしい生活をしているんだなと体感し、これが異文化理解なのかもしれない、留学に来た意味だろうと思いました。

※先輩体験記より抜粋

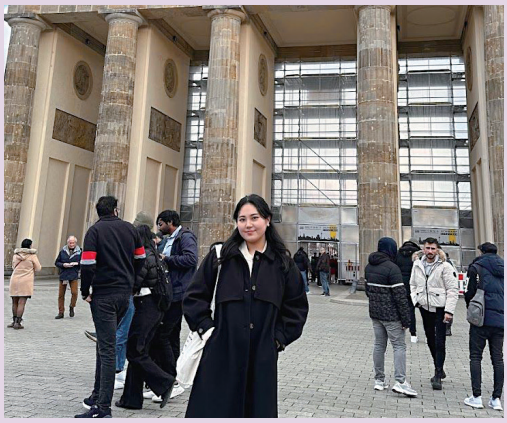
週間スケジュール例

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	週末
午前	買い物		Cases in International Marketing	Strategic Brand Management		ボランティア
午後	図書館	Deciphering French Culture	図書館	French Class	Basics in Grape and Wine Knowledge	
夜	スポーツクラス（瞑想）			友人とスイーツ巡り	スポーツクラス（ズンバ）	洗濯

※上記内容は、派遣先大学の開講年度により変更となる場合があります。

ブレーメン州立経済工科大学





国・都市：ドイツ・ブレーメン
ブレーメンの特徴：
　中世以来の自由都市としての地位を現代まで維持している。ブレーメン州はブレーメン市と、ブレーマーハーフェン市の2都市からなる。

■創立：1988年
■学生数：8,000人
■大学の特徴：
- 州立単科大学で、ヨーロッパはもちろん世界の大学と交換留学協定を結んでおり、留学生の受入体制も整っています。学生の約10%が外国籍です。
- ドイツで最も新しい大学の一つであり、単位互換性の高さや国際性が特色。ドイツ国内の複数の賞を受賞し、2001年にはドイツ学術財団連盟より「改革単科大学」の名称が与えられました。
- BSA学生は経済学部の特別プログラムに参加します。ドイツ語および英語コースが開講され、それぞれの言語で専門科目に参加する事ができます。

過年度派遣学生体験記
（2023年度夏期 BSA II）

「怖がらずに挑戦してみる」。このルールだけを自分の中で決めてドイツ・ブレーメンで半年間過ごしました。新しい人と出会うときも、誰も知り合いのいない授業に出るときも、グーグル翻訳が使えなくて薬局でボディソープが見つけられないときも、このルールを思い出して何事にも取り組んできました。ドイツに来てからはこの一つのルールに従って、自分のなかで「上手くいかなくても死ぬわけでもない」と開き直って物事を考えるようにしていました。結果、異国の地でも毎日が惜しいぐらい楽しむことができただけでなく、自分がどんな人間なのか気づけたし、腰の重かった自分がすごくフットワークが軽くなりました。特に友達作りには力を入れました。出会う人一人一人がどんな人なのかに興味を持ち、会う人会う人に話しかけて、とにかくオープンでいることを心掛けました。また、ブレーメン経済工科大学では、食堂がただごはんを食べる場所ではなく、学生同士の交流の場となっていて、友達と座って話していると、友達の知り合いがそこに加わり、友達の輪が増えていき、新しい人と出会える機会が多い環境でした。空きコマは常に食堂にいるようにして、とにかく人と英語を使って話すことに力をいれました。授業に関しては、小規模で行われるものばかりのため教授や他の学生との距離も近く、またどの授業もディスカッションやグループワーク、ケーススタディが設けられていて、教授だけが90分間話すような講義はありません。Cross Cultural Communicationのクラスでは留学生が私一人だけでしたが、常に教授が日本の文化や生活について聞いてくださり、現地の学生と受ける授業でもしっかり参加でき、授業の一員となれるような授業環境を作ってくださっていて、毎週参加するのがとても楽しかったです。この大学の魅力として日本語を専攻する学科があります。その学科は日本に興味を持っている、日本に訪れたことがある、日本が好きという人たちであふれていて、日本人留学生に対してすごくオープンです。ドイツ語ではなく英語にフォーカスしたかった私は、ドイツ人のタンデムパートナーに日本語を教える代わりに英語を教えてもらっていました。一番仲の良い子にはドイツに来てから書き始めた英語の日記を見せて、表現の仕方や文法を添削してもらったり、本を読むのが好きな子とは現地で買ったハリーポッターの本を実際に読むのを聞いてもらって発音を直してもらったり、おしゃべりが好きな子には教科書では習えないようなスラングや海外の流行りの文化を教えてもらっていました。多くの時間をドイツ人と過ごし、ドイツ人特有の「正直さ」を肌で感じることができました。本当に人にもよりますが、自分の意見を良くも悪くもストレートに伝えている場面を何回も見てきました。自分のなかでの物事の優先順位を大切にしていてイエス・ノーをはっきり言える人が多いです。「いいえ」を言うこと、人と違っていても、間違っているかもしれないけど意見を言うことは日本人にとっては慣れないことですが「これがドイツの人の表現の仕方、正直さが大切にされている文化だ」と割り切ればすぐに慣れることができました。人の考え方を変えるのほぼ不可能で、でも自分のものごとの捉え方を変えてみることはできるんじゃないかと気づきました。留学後の生活、これから社会人となった時でもどんな環境においても自分の考え方、マインドセット次第でどこでも楽しめると思います。ドイツという国、文化、人に惹かれ、言語、専門科目を学ぶのにとてもいい環境が設けられていて、留学生のためのサポートやウェルカムイベントも豊富なブレーメン経済工科大学を選択した自分を褒めたたえたいです。それぐらいとてもいい経験ができたので、もっと多くの学生にドイツ、ブレーメン、そしてこの大学の魅力が伝わって、ぜひ留学先として選択してほしいです。

※先輩体験記より抜粋

週間スケジュール例

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	週末
午前	Global Management	Marketing & International Marketing	Marketing & International Marketing	European Management	買い物、掃除	
午後	課題・予習・復習	タンデム	Cross Cultural Communication	タンデム	課題・予習・復習	友達と出かける

※上記内容は、派遣先大学の開講年度により変更となる場合があります。

アーヘン応用科学大学







国・都市：ドイツ・アーヘン
アーヘンの特徴：
　電車でパリから約2時間半、ブリュッセルからは約1時間。車で30分ほど行けばオランダ／ベルギー／ドイツ3ヶ国の国境地点に到着する。古代ローマ帝国時代から温泉保養地として知られており、8世紀末には、一時、フランク王国のカール大帝が王宮を置き事実上の首都となった。

■創立：1971年
■学生数：13,000人
■大学の特徴
・世界中の170大学と協定を結んでいます。
・ドイツの新聞社（Die Zeit）による大学ランキングのビジネス部門でトップにランキングされています。
・10学部からなり、アーヘン内の4キャンパスとユーリッヒの1キャンパス、計5キャンパスを有する大学です。

過年度派遣学生体験記
（2023年度夏期 BSA II）

小さな国境の街、アーヘンの魅力
　ドイツの西端、オランダとベルギーの国境に位置するアーヘン。ドイツで初めて世界遺産に登録されたドーム型の屋根が特徴的なアーヘン大聖堂が街のシンボルです。ドイツのスイーツと聞くとバウムクーヘンやシュトレンが思い浮かびますが、それは東ドイツの発祥。アーヘンには、周辺地域でのみ作られているプリンテンというクリスマスのお菓子があります。小さい街とはいえ、ドイツ屈指の大学もあることから活気があり、ケルンなどの都市にも電車に乗って1時間ほどで行けるという学生生活のしやすい場所だと思います。私の一番のお気に入りスポットは、大学までの通学路です。小さなマーケットがあり、自然も多く、季節の移り変わりを見るのが楽しいです。

国際社会における実践的な学び
　現地で通う大学はドイツ語でFachhochschule Aachenと言い、FH Aachenと呼ばれています。Fachhochschuleでは研究大学とは少し異なり、企業で5年以上の実務経験がある教授から実践的な学びを得ることができます。全て英語開講の学科に所属し、60名ほどで授業を受けます。授業内容としては、地元企業から与えられた課題にチームで取り組むプロジェクト形式のものや、ケーススタディを交えた講義形式のものがあります。マーケティング論ではドイツ語圏の国と地域に適応した企画を考案したり、人的管理論では異なるバックグラウンドを持つ交渉相手にはどのような戦略が有効かを考えたりします。ヨーロッパにおけるビジネスは自国に留まらず、より広い視野で考える必要があることを感じました。

ドイツ流クリスマスの過ごし方
「もういくつ寝るとお正月？」日本人がお正月を楽しみにしているように、ドイツにもクリスマスの訪れを心待ちにしている様子を歌った童謡がたくさんあります。近年は日本でもお馴染みのアドベントカレンダーですが、ドイツではそれに加えてクリスマスまでの日曜日は家族みんなでお祝いするという伝統があります。私も12月は毎週末、友人家族とのクリスマスディナーや、アーヘンのサッカースタジアムで開催される大合唱コンサートを楽しみました。そして、この時期の醍醐味はなんと言ってもクリスマスマーケット。グリューワインで温まりながら、外で友人と集まってお喋りを楽しむドイツの人々の姿が印象的で自然と温かい気持ちになります。

ドイツで初めての一人暮らし
　慣れない初めての一人暮らしを支えたのは、マッシュドポテト。ドイツ人の友人宅にホームステイした時に教えてもらった、ドイツの家庭レシピです。材料はドイツ産のじゃがいも、バター、塩、牛乳、ドイツでしか手に入らないクヴァークという甘くない硬めのヨーグルト。ドイツのじゃがいもは日本のものと味が異なり、このマッシュドポテトはとても簡単なのに絶品です。他にも、日本では見かけないフルーツを買ってジャムを作ってみたり、スーパーに並ぶ新鮮で種類豊富なパンを買ってみたりと、現地の食生活に馴染むことで新しい発見もたくさんありました。
　そして、ドイツでの一番の学びは、助け合う心です。ドイツ生活初日、電車から降りる時のスーツケースを降ろす補助や駅でホームを探している際の「何か困ってる？」との声掛けには本当に救われました。日常生活でも後ろから人が来ていたらドアを開けておいてあげるのが当たり前。そうした小さな助け合いが心地よく、私も心がけるようにしています。

※先輩体験記より抜粋

週間スケジュール例

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	週末
午前	洗濯	自習	Information Technology, International Marketing and Management	Human Resources and Organization	自習	掃除
午後	ドイツ語	自習	Business Taxation	Business Taxation	買い物	バドミントン
夜	自習		自習	友人とスケート	映画鑑賞	

※上記内容は、派遣先大学の開講年度により変更となる場合があります。

アルカラ大学





国・都市：スペイン・アルカラ
（正式名称：Alcalá de Henares）
アルカラの特徴：
首都マドリードから国鉄RENFEで約35分、バスで約30分。学問の都市、学生の街として知られている。小説『ドン・キホーテ』の作者セルバンテスの出生地としても有名。

■創立：1977年
■学生数：約26,000人
■大学の特徴：
- 3つのキャンパス（Campus histórico, Campus Científico-Tecnológico y Campus Guadalajara）で約30,000人の学生が学んでいます。3キャンパス間は国鉄RENFEとバスで快適に行き来できます。
- 多くの留学生を受け入れている国際性の高い大学です。
- 世界で最初の計画的な大学都市であること、その都市計画がアメリカ大陸やヨーロッパのモデルになったこと等から、1998年アルカラ大学と周辺の歴史地区がユネスコの世界遺産（文化遺産）に登録されています。
- 大学キャンパス内部の大講堂では、毎年4月23日にスペイン語圏のノーベル文学賞といわれるセルバンテス賞の授賞式が行われます。
- アルカラ大学は留学生のためのスペイン語教育に力を入れています。留学生のためのスペイン語コースはすべて有料で、アルカラ大学付属のアルカリングアが運営しています。

過年度派遣学生体験記
（2023年度夏期 BSA II）

Alacala de Henaresってどんな街？
アルカラはマドリードの中心部から電車で40分程度のところにある小さな街です。街の中心にあるセルバンテス広場では、クリスマスマーケットや中世マーケットなどの様々なイベントが開かれており、一年を通してスペインの伝統的な催し物を楽しむことができます。また、私の留学先だったアルカラ大学は校舎がユネスコにより世界遺産に登録されており、スペインで最も威厳のある公立大学の1つとして知られています。

時間がゆっくり流れる国
スペインは夏の日没が9時過ぎ、冬でも6時半ごろと日照時間の長い国です。そのこともあって、お昼過ぎから夕方の4時くらいまでの時間はほとんどのお店が閉店します。このお昼休憩の時間をスペインではシエスタと呼び、夜営業の開始が8時からのレストランもしばしば見かけます。
スペインでは友人たちとよくタパスバーに行きました。タパスというのはスペイン風のおつまみのことで、タパスバーではドリンクを1杯頼むとおつまみが1皿ついてきます。現地の人々はお昼からタパスバーでワインやビールを楽しんでいます。ちなみに学校のカフェテリアでも学生がビールを飲んで談笑している姿が見られ、日本では見られない光景に驚きました。スペインでは厳しい制限があちこちにある訳ではなく、ゆったりした環境の中でゆっくり時間が過ぎるのを感じることができました。

普段の生活
平日は授業が終わった後に友人たちと図書館に行って自習をしたり、公園でのんびりしたりして過ごしました。毎週木曜日にはフラットメイトとディナーをするのが恒例でした。それぞれ異なるバックグラウンドを持つフラットメイトたちと順番に自国の料理を作り合いました。最初はスペイン語の会話に全くついていくことができませんでしたが、学期末までにはなんとなく会話の内容が掴めるようになり達成感を感じました。

キャンパスライフ
授業を受ける中で印象的だったのが学生の積極性です。大講義であっても学生たちが積極的に手を挙げて発言する姿は日本ではあまりない光景なので驚きました。私が毎回楽しみにしていた授業がアルカリングアと呼ばれるスペイン語の授業です。オールスパニッシュでレベルは高いですが、少人数授業なので質問がしやすく、楽しくスペイン語を学習することができました。アルカラ大学に留学する予定の方にはぜひオススメしたい授業です。

自己成長
この留学は自立という意味でとてもいい経験になったと思います。住居がない状況で渡航し現地の不動産屋さんに駆け込んでシェアフラットを見つけたり、言葉が通じず知っている人が誰もいない土地で新しい人間関係を構築したりした経験は、日本国内ではできない貴重な経験でした。また明るく陽気で、はっきり物を言い、愛情表現をする、日本人と対照的と言っていいような国民性を持つスペインの人々と関わっていく中で、自分の国の文化や自分の人生について見つめ直すきっかけも持つことができたと思います。

※先輩体験記より抜粋

週間スケジュール例

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	週末
午前	Economía y Procesos de Internacionalización	Introducción a la Economía	Introducción a la Economía	掃除	自習	旅行
午後	Alcalingua（スペイン語の授業）	Alcalingua	Alcalingua	自習	友人とお出かけ	
夜				フラットメイトとディナー	パーティー	自習

※上記内容は、派遣先大学の開講年度により変更となる場合があります。
※アルカリングア（Alcalingua）はアルカラ大学付属の留学生向けスペイン語センターで、履修に際しては別途授業料の支払いが必要です。



カモーソンカレッジ

国・都市：カナダ・ビクトリア
（ブリティッシュコロンビア州）
ビクトリアの特徴：
カナダ・ブリティッシュコロンビア州南西部、バンクーバー島の南端部にある、同州の州都。温暖な気候で、美しい英国風の街並みが広がる。

■創立：1971年
■学生数：14,000人
■大学の特徴
・ビクトリアで最大の大学で、多彩なプログラムを提供しています。
・LansdowneとInterurban、2つのメインキャンパスがあり、バスで行き来することができます。
・世界70か国から約1,700名の留学生が学んでいる国際的な大学で、職員も多国籍で日本人スタッフが常駐しています。
・授業は30名前後の少人数制で、丁寧な教育を受けることができます。


BC州議事堂



キャンパス内


図書館



食堂

セントラルランカシャー大学









国・都市：イギリス、プレストン
（ランカシャー州）
プレストンの特徴：
ランカシャーの州都で、ロンドン、エディンバラから2時間以内、リバプール、マンチェスターからは1時間以内とイギリス全土への交通が非常に良い場所に位置している。雇用、所得、ワークライフバランス、交通、技能、環境、住宅価格を含む10項目を英国42都市で測定したGood Growth for Cities総合16位にランクされ、英国内でも注目されている都市でもある。

■創立：1828年
■学生数：23,000人
■大学の特徴
・イギリス最大の大学のひとつで、プレストン、バーンリー、ウェストレイク、キプロスにもキャンパスを所有し、400以上の学部課程と200以上の大学院過程がある大学です。
・2015年のCentre for World University Rankingsでは、全世界の大学の上位3.8%にランクインし、教育の質の高さで世界的に知られています。
・世界100か国以上から留学生を受け入れ、世界中の120以上の機関と提携している国際的な大学で、留学生へのサポートも充実してます。

（★）派遣型

レディング大学





国・都市：イギリス・レディング市
レディング市の特徴：
ロンドンから電車で25分。商業都市で、国際企業の英国支社が近隣に立地している。

■創立：1926年
■学生数：15,000人
■大学の特徴：
・ヒースロー空港／ガトウィック空港へのアクセスが良い場所にあります。
・キャンパス内には湖もあり、緑も多く、生活環境はとても良いところです。在学生の10%程度は留学生です。
・国際経営のレディング学派が生まれた大学であり、イギリスで最初に作られた伝統あるファウンデーションコースの経営関連の授業は、ビジネススクールの教授陣が教鞭を取ります。
・ファウンデーションコースに在籍する約120名の学生と共に学習することによって、英語力だけでなく、経営学の基礎学力も飛躍的に伸びることで有名なコースです。

過年度派遣学生体験記
（2017年度夏期 BSAIV）

本プログラムを通して、自分は様々な面において成長できたと思います。このプログラムを総合的に見ると、過去に習った理論などをさらに実践的にどういかせるかなどといった、より発展的なステージで物事を考える良い機会になったと思います。そして、レディング大学での学びの環境は自分の理想に非常に近いものでした。そう考えさせられた理由は、教育のシステムと内容にあると思います。

レディング大学のIFPでは、立命館のように1週間に計14科目ほど、それぞれ90分間全く別の科目を学ぶシステムとは違い、基本的に履修科目は4つで、1週間に計14回ほどの講義があり、それぞれの授業時間は50分でした。つまり、1週間の授業のコマ数は同じですが、授業を受ける時間と科目の種類が少ないのです。1週間の間に同じ科目が複数回、別々の日にあることで、仮に予習や復習ができなくても自然と頭に定着しやすくなっていました。そして受け身の授業だけでなく、Seminar、Tutorialなどと少人数形式の異なる形態の授業も行なわれていたため、より濃い内容の授業を受けることができました。

春季タームではグループワークが増え、特に経営学の授業での取り組みは忘れられないものとなりました。マーケティングプロジェクトの課題で、センター街にあるお店のマーケティング調査を行うというものがありました。そのマーケティング調査をする際の着目点などは、その直前に習った理論などを参考にして、それらを反映させて顧客のデータを集めていくというものでした。こうして実験的に経営の理論を利用してデータを見るのは初めてで、非常に楽しく取り組むことができました。そこで苦労したのは、メンバー間のモチベーションの差でした。全員がという訳ではありませんが、課題に対する姿勢は文化背景によって大きく差があるように感じ、ほぼ全てのグループに必ず1人は貢献度0%の人がいたりと、グループワークやリーダーシップのスキルが求められる課題でした。

留学生活中は本当に沢山の人との関わりを大切にできたと感じています。タームが始まってすぐバンドサークルやテニスクラブに所属して、授業で一緒になる学生以外の人との関わりも増やすことができました。そして、自分の趣味の音楽がきっかけで、IFPで初の、学生が特技を披露するタレントショーが開催されました。そこではメインパフォーマーとして会場を盛り上げることができ、IFP以外の人たちなども誘うことができ、面白いイベントを生み出すことができ満足しています。

たったの半年間でしたが、沢山の人と触れ合い、出会いや環境を非常に大切にできた素敵な留学生活だったと思います。今後もこの半年間で学んだことを活かし、より良い大学生活を送りたいと思います。

※先輩体験記より抜粋

レディング大学のInternational Foundation Programme（IFP）を立命館大学経営学部生向けにアレンジした「派遣型留学プログラム」です。

● Foundation Programmeとは、イギリスの大学で開講されている大学進学準備のためのコースで、大学の授業についていける英語力や基礎知識を学ぶためのカリキュラムとなっています。

■現地での履修科目（例）
International Foundation Programme（IFP）では各セメスターごとに下記の科目の中から3つの科目を履修します。

〈First semester〉

Academic English	Concepts in Politics
Introduction to Sociology	Psychology and the Body

〈Second semester〉

Introduction to Business Management	Foundation Economics -Microeconomics
Statistics and Data Science	Academic Skills

※現地での履修科目は開講年度により変更となる場合があります。

（1）BSAⅢの特徴

キャリア型の「BSAⅢ」は、「ビジネスを発見し、ビジネスを創造する」という学部教学理念に沿い、グローバルな視点に立って世界を舞台に活躍する「ビジネスリーダー」を育成する実践的なプログラムとして、海外の企業、日系、その他企業などで実務研修を行います。

BSAⅢキャリア・ディベロップメント型（海外実習Ⅱ）
・将来のキャリア形成を目的とし、海外の企業や公的機関での研修を行います。そこでの実践的な業務を通じて、将来海外で働くために必要な様々なスキルや知識を学びます。研修で得られた経験と学ぶ意欲をもとに、帰国後のさらなる学習につなげ、国際舞台で「ビジネスを発見し、ビジネスを創造する」能力を育成する実践的なキャリア形成型の就学体験プログラムです。 ・受入機関の業務内容から一定の外国語運用能力を必要とされます。受入機関によって具体的な外国語のスコア条件は異なりますが、必要とされる外国語のスコアは、TOEIC®L&RテストもしくはTOEIC®L&R IPテスト600点以上とします。

（2）応募資格・派遣先

	派遣先名称	派遣開始時期	募集人数	対象回生	GPA	語学基準
派遣型	アメリカ・フロリダ州／ バレンシアカレッジ および ウォルト・ディズニー・ワールド	2月、8月 （約6ヶ月間）	若干名	派遣時 2回生以上	2.75以上	TOEIC®L＆Rテスト（IP可）600点／ TOEFL iBT®テスト61点／ またはIELTS 5.0以上

※上記応募資格を満たした上で、派遣先の実施する選考があります（語学測定試験と対面による面接を予定）。

（3）その他

・スケジュール、応募要件、参加費用（※）、奨学金額、単位取得数については、募集要項・ガイダンスで確認してください。
※選考過程で交通費等の費用が発生する際は、全て自己負担となります。
・インターンシップ科目の要卒単位認定には、制限があります。
〈制限内容〉卒業までに原則2科目／8単位以内。単年度は1科目／4単位以内。
・全学インターンシップ科目との併願はできません。







（4）派遣先紹介・学生体験記





アメリカ・フロリダ州
■オーランド市の特徴：
　アメリカ南東部フロリダ州の中部に位置するオーランドはディズニーワールド、ユニバーサルスタジオなどテーマパークで知られるレジャー・リゾート地です。12月でも最高気温が20度を超えることも珍しくはない温暖な気候ですが、冷え込む日には10度を切ることもあり注意が必要です。夏は冷房も強いため、上着が必要な場所も多くあります。

バレンシア国際カレッジプログラム
■プログラム内容
　バレンシアカレッジ講師によるビジネスマネジメント、リーダーシップのコース履修と、同州のウォルト・ディズニー・ワールドでの就労体験を組み合わせたプログラムです。
　現地でのプログラムへ向けた準備として、事前に国内でガイダンスや講座を受講します。世界中から集まった仲間と共に学び、働く体験を通じてグローバルに活躍する上で必要な感覚やスキルを身につけることができます。

バレンシア国際カレッジプログラム

過年度派遣学生体験記
（2024年度夏期 BSA III）

　高校時代からホスピタリティに興味を持っていた私にとって、ディズニーは世界トップクラスのホスピタリティ企業であり、その環境で学び、働くことに憧れていました。そうして「ディズニー・バレンシア国際カレッジプログラム」に参加することを決めました。

　2024年の秋に出発し、ついに留学が始まりました。アメリカでの生活は、家族と離れての初めての一人暮らしで、トラブルも含めてすべてを新鮮に楽しむことが出来ました。フラミンゴ寮にはスポーツ設備やビリヤード、映画館、個別の勉強部屋があり、とても快適でした。また、アクティビティやイベントも頻繁に開催されていたので、他のキャストメンバーと交流する機会がたくさんありました。さらに、仕事やディズニーパークへはフラミンゴ専用バスが無料で利用でき、移動も非常に便利でした。部屋はアメリカ人2人と日本人1人、計4人のルームメイトと一緒に生活しました。自炊をし、ルームメイトと助け合いながら過ごした日々はとても楽しく、少し成長した自分を実感することができました。ルームメイトとの思い出は、私の中で大きな宝物の一つになっています。

　バレンシアカレッジの授業は、先生が寮に来てくれる形式で行われていたため、学校に通うことはほとんどありませんでした。授業は毎週水曜と木曜に行われ、日本人やコロンビア人のクラスメートと一緒に学びました。アメリカの教育を受ける中で、自国の文化と他国の文化の違いに気づき、多くの新しい発見がありました。また、授業以外にもイベントやアクティビティがありました。サッカー観戦やユニバーサル・スタジオへの訪問など、楽しい思い出をたくさん作ることができました。ただ遊ぶだけではなく、サッカーの試合運営の裏側やテーマパークの営業戦略について学ぶ機会もあり、とても充実した時間を過ごしました。

　ディズニーで働くことに関しては、希望していたリゾートでの業務を担当できたことがとても嬉しかったです。ホテル業務を通じてホスピタリティの実践を学びながら、多くの知識と経験を得ることができました。特に、多国籍な職場でさまざまな文化を持つ人々と一緒に働く中で、働き方や考え方の違いを知ることができたのは大きな学びでした。ディズニーでは「ゲスト一人ひとりに魔法のような体験を届ける」ことを目標としており、ゲストを笑顔にすることが私にとって大きなやりがいとなりました。この経験を通じて、ホスピタリティの本質を学ぶとともに、自分自身の成長も感じることができました。

　この留学は私にとって本当に貴重な経験でした。授業に通いながら働いてお金を貯め、友達と遊ぶ時間もしっかり楽しむことができ、毎日が充実していました。仕事を通じて多くのことを学び、人間関係や異文化理解、そして自分の成長を実感できたことがとても嬉しかったです。それぞれの経験が私にとってのかけがえのない宝物であり、この宝物はこれからの人生を支えてくれると感じています。

※先輩体験記より抜粋

週間スケジュール例

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	週末
午前	友達と外食	家事	友達と遊ぶ	ディズニーに行く	課題をやる	仕事
午後	仕事	仕事	CLASS	CLASS	仕事	ディズニーに行く
夜	寝る	友達と遊ぶ	ディズニーに行く	休憩	寝る	ムービーナイト

※上記内容は、派遣先大学の開講年度により変更となる場合があります。
〈インターンシップ役割例〉
・パーク内お土産販売店　販売担当　・系列ホテル内ショップ　販売担当　・各種アトラクション　誘導・保守担当
・フード販売ワゴン担当　・レストランキッチンスタッフ

6．BSAに参加するにあたっての注意事項

- 留学の目的を、事前にさまざまな角度からじっくりと考えてみてください。曖昧な動機で留学に応募すると、明確な成果を得ることができない場合がありますので、目的意識をしっかりと持つことが大切です。
- 留学を応援してくれる父母等家族のみなさんの理解を得ておくことも非常に大切です。どの時期に、どの国・地域で、どのような内容のプログラムに参加したいのかという意思を伝え、理解を得ておきましょう。また、留学に向けての準備段階や、留学中はあらゆる情報を共有し、無用な心配をかけないように心がけましょう。家族とのコミュニケーションは留学を成功させる第一歩です。
- 留学に必要な経費を計算してみましょう。予想よりも多くのお金が必要かもしれません。それらの必要経費を準備できる資金計画はあるか、家族からの経済的援助を受けることはできるか等をクリアにしておく必要があります。
- 留学にはパスポート申請やビザの取得を始め、海外渡航に関わるさまざまな手続きが必要になります。
  留学を希望する場合は、前もって経営学部事務室までご相談ください。
- BSAの各プログラムは派遣先大学や機関が企画・運営しています。予定しているプログラム内容から変更になる場合もあります。
- 派遣確定後にある事前講義・事後講義や各種ガイダンスへの出席および渡航手続き等に関し、教職員の指示による期限を遵守しない場合、プログラムの参加や単位授与を取消す場合があります。
- 各プログラムにおいて、派遣内定者が一定人数に達しない場合は、プログラムが実施されないことがあります。その場合は別途、派遣内定者へ連絡します。
- 現地での留学･実習期間が定期試験の追試や成績確認制度の日程と重なる場合は、それらを受けることはできません。また、それに対する特別措置もありません。
- 派遣に際して個人加入の海外旅行保険の有無に関わらず、立命館大学指定の海外旅行保険への加入が必要です。



memo

7．BSAプログラムQ&A　ーよくある質問ー



■応募編

Q BSAプログラムに参加したいのですが、応募資格を満たすには何を準備すればよいですか。

A 学業成績と語学スコアが重要です。留学するには、日々の学習に励んで、よい成績を修めるよう心がけてください。なお、出願要件については、変更になる場合があります。応募前に必ず募集要項を確認してください。

Q BSAプログラムと全学募集プログラム（国際教育センター主管の留学プログラム）はどう違いますか。

A BSAプログラムは経営学部によって運営されています。一方、全学募集プログラムは、国際教育センターによって運営されています。また、BSAプログラムではビジネススクールや経営学部を有する海外の大学に留学し、経営の専門知識を修得することに重点が置かれている点が特徴です。

Q BSAプログラムと全学募集プログラム（国際教育センター主管の留学プログラム）を併願することはできますか。

A 同じ期間に実施される留学プログラムの選考に応募・合格している場合は、同期間のプログラム（全学募集プログラム・BSAプログラムの別を問わず）に応募できません。同じ期間に実施されるプログラムへの応募を希望する場合は、応募・合格しているプログラムの辞退を申し出た後で、応募してください。



■準備編

Q 留学にはどれぐらい費用がかかりますか。

A 留学先や期間、プログラムによってかかる費用は異なります。詳細については本手引き中の「参加費用等」を参照してください。

Q 派遣先大学で履修するコースや科目を知りたいのですが、どのように確認できますか。

A 経営学部の協定校の多くは、留学生のためのホームページを開設しています。ホームページ上で、留学生が受講できるコースを参照してください。また、経営学部事務室では、過年度派遣学生が受講していた科目リストを管理しています。留学相談の際に、参考にしてください。

Q BSA Ⅱ・Ⅳで留学する場合、渡航日や帰国日は自分で決めて良いのでしょうか。

A BSA Ⅱ・Ⅳでは、航空券は各自手配になりますが、必ず本学及び派遣先が定める期間内に出入国するよう定められています。



■留学中編

Q BSAプログラム参加中の滞在先はどのような場所ですか。

A 派遣先大学指定の学生寮がある場合は、学生寮に滞在することが多いです。派遣先大学によってはホームステイやシェアハウス、アパートになる場合もあります。

Q 留学を中断する、または留学期間を延長することは可能ですか。

A 原則として、認められません。ただし、やむを得ない事情の場合は、必ず派遣先大学および経営学部事務室に相談してください。

Q 留学中のアルバイトは認められますか。

A 留学先で学業に専念するため、BSAプログラムでは留学中のアルバイトは認めていません。



■帰国後編

Q 留学先大学で修得した単位は立命館大学でどのように認定・授与されますか。

A BSAⅡ・Ⅲ・Ⅳにおいて修得した派遣先大学の単位は、本人による単位認定申請を受けて、所定の基準に基づき、本学の授業科目単位として認定を行います。認定単位数については、派遣された大学での各自の履修科目により異なります。また、BSAⅠ、ⅠPlusでは、各プログラムに対応する立命館大学の単位が授与されます。

Q 帰国後、すぐに必要な手続きは何ですか。（適用対象：BSAⅡ・Ⅲ・Ⅳ）

A 帰国後、すぐに必要な手続きは「留学終了届」と「留学帰国者単位認定案申請書」の提出です。この手続きは留学帰国後の受講登録および留学中に修得した科目の単位認定に関わりますので、帰国後速やかに行ってください。

Q 帰国後、学内で自分の留学経験を活かしたいのですが、どのようなところで活かすことができますか。

A 帰国後には、海外派遣・留学経験、修得した経営学の専門知識や外国語運用能力等を活かせるよう、英語による経営学専門科目の受講、留学生バディ制度による受入留学生支援、BSAガイダンスでの体験談発表、BSAホームページでの留学体験記執筆など、さまざまな活躍・活動の場が考えられます。



■履修編

Q BSAプログラムに参加して4年間で卒業できますか。

A BSAプログラムに参加する場合、留学期間は在学年数に含まれるので、しっかりとした学習・留学計画を立てていれば4年間で卒業できます。

Q 自分の語学力で海外の大学の講義についていけるか不安ですが、大丈夫でしょうか。

A 出願要件をクリアしているのであれば、語学力について必要以上に心配することはありません。ただし、あくまでも本手引き記載の基準はプログラム応募にあたっての基準スコアです。派遣先への申請時や派遣先での科目履修の際、応募時の基準以上の語学力を要求している派遣先もあります。応募基準を満たし、派遣予定者に内定した後も語学力の向上を目指してください。また、留学開始直後は、慣れない授業スタイルや大量の課題に苦しむ学生が多いのも事実です。その際には、積極的に留学先の先生や職員と相談することをお勧めします。受身にならずに自ら解決策を探そうとすることが大切です。試行錯誤して努力することを通して、自分に合う方法が見つかるはずです。また、英語以外の言語を公用語とする大学への留学を希望する場合は、英語だけでなく、派遣までに現地公用語の学習にも、ぜひチャレンジしてください。派遣先の生活環境によっては公用語を一定程度習得しておいた方が、生活面での心配が軽減されます。

Q 1セメスター以上の留学をする場合、専門演習（ゼミ）の履修は可能ですか。

A BSA（正規留学プログラム）に参加する場合、留学期間中の「専門演習Ⅰ～Ⅲ」の受講は免除されます。留学帰国後は、原則として留学前と同じクラスに所属し継続履修をする事ができます。帰国後に所定の申請書に必要事項を記入のうえ、提出してください。また、専門演習の募集・選考期間に留学をしている場合は、留学中に応募が必要です。面接等が必要な場合があるので、各担当教員の指示に従ってください。



■その他

Q BSAプログラムでは、どのような奨学金を受けられますか。

A 立命館大学は海外留学に参加する学生を支援する「立命館大学海外留学チャレンジ奨学金」制度を設けています。BSAプログラムでは本奨学金制度が適用されます。BSA各プログラムの奨学金の詳細は、本手引きの該当ページを参照してください。なお、BSAⅢについては、募集要項・ガイダンスにて確認してください。
（BSAⅠ：P.9　BSAⅠPlus：P.15　BSAⅡ･Ⅳ：P.22）

Q BSAプログラムに参加して就職活動に支障が出ませんか。

A 出発時期によって留学と就職活動期間が重なる場合、企業説明会や選考に参加できない場合があります。留学と就職活動を両立させるために、しっかり留学計画を立ててください。必要に応じてキャリアオフィスへ事前にご相談ください。

経営学部BSA Ⅰ～Ⅳ学生派遣実績（2006年度～2024年度）

		2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020		2021		2022		2023	2024	合計
																現地渡航	オンライン	現地渡航	オンライン	現地渡航	オンライン			
BSA Ⅰ	中国（対外経済貿易大学/蘇州大学）	18	12	13	8	17	21	18	6	-	5	10	11	26	13	-	-	-	-	-	-	-	-	178
	ニュージーランド（マッセイ大学）	18	30	26	17	18	8	7	23	12	18	13	11	15	16	-	-	-	-	-	-	20	12	264
	アメリカ（ウエスタンミシガン大学）	-	11	30	0	13	20	23	21	13	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	131
	韓国（建国大学）	-	-	-	-	-	-	-	-	11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11
	オーストラリア（マコーリー大学）	15	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	15
	小計	51	53	69	25	48	49	48	50	36	23	23	22	41	29	0	0	0	0	0	0	20	12	599
BSA Ⅰ Plus	アメリカ（カリフォルニア大学デービス校）	-	-	-	-	-	-	-	-	4	4	5	8	3	0	-	-	-	-	-	-	5	8	37
	小計	0	0	0	0	0	0	0	0	4	4	5	8	3	0	0	0	0	0	0	0	5	8	37
BSA Ⅲ	アメリカ（バレンシアカレッジおよびディズニー）	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	6	12	21
	カナダ　バンクーバ（MYK）	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
	イギリス（クロスカルチャーホールディング）	-	4	2	3	0	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10
	中国（CIP）	-	2	4	3	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9
	アメリカ（ディズニー）	-	2	5	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11
	アメリカ・サンディエゴ（HIA）	-	-	-	-	-	8	7	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	21
	小計	0	8	11	10	0	9	7	10	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	6	12	76
BSA Ⅱ	大連外国語大学（中国）	-	2	4	0	2	2	0	0	1	0	0	0	0	2	-	-	-	-	-	-	1	0	14
	対外経済貿易大学（中国）	-	-	-	-	-	-	0	0	0	1	1	0	0	0	-	-	-	-	-	-	0	0	2
	カモーソンカレッジ（カナダ）	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	0
	オークランド工科大学（ニュージーランド）	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-	0	0	0
	タマサート大学ビジネススクール（タイ）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	-	-	-	-	0	-	0	1	2
	ストックホルム大学ビジネススクール（スウェーデン）	-	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0	0	-	-	-	-	0	-	0	1	6
	ストラスブール大学EMストラスブールビジネススクール（フランス）	-	0	1	0	0	0	1	0	1	1	0	0	2	1	-	-	-	-	1	-	1	1	10
	ブレーメン州立経済工科大学（ドイツ）	-	0	0	0	0	2	0	0	1	0	2	1	0	0	-	-	-	2	0	-	1	0	9
	アーヘン応用科学大学（ドイツ）	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	4	2	-	-	-	-	2	-	2	3	15
	アルカラ大学（スペイン）	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	4	-	5
	セントラルランカシャー大学（イギリス）	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	0
	フレーザー・ヴァレー大学（カナダ）	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	小計	0	4	6	0	2	4	1	0	3	2	5	5	6	5	0	0	0	2	4	0	9	6	64
BSA Ⅳ	大連外国語大学（中国）	-	3	2	2	1	3	4	0	0	0	0	0	1	0	-	-	-	-	-	-	0	0	16
	対外経済貿易大学（中国1年）	-	-	-	-	-	-	1	1	0	0	0	1	0	0	-	-	-	-	-	-	2	0	5
	対外経済貿易大学（中国1.5年）	-	-	-	-	-	-	2	-	1	1	0	1	0	1	-	-	-	-	-	-	0	0	6
	カモーソンカレッジ（カナダ）	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
	タマサート大学ビジネススクール（タイ）	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	0	-	0	0	0
	ストックホルム大学ビジネススクール（スウェーデン）	-	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1	-	-	-	-	1	-	2	1	8
	ストラスブール大学EMストラスブールビジネススクール（フランス）	-	0	3	1	3	0	0	5	0	5	4	0	4	1	-	-	-	-	1	-	3	1	31
	ブレーメン州立経済工科大学（ドイツ）	-	0	0	0	2	0	0	3	0	2	3	2	0	1	-	-	-	-	0	-	1	2	16
	アーヘン応用科学大学（ドイツ）	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	2	-	-	-	-	2	-	1	0	8
	アルカラ大学（スペイン）	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	0	-	1
	セントラルランカシャー大学（イギリス）	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2
	レディング大学（イギリス・派遣型）	-	2	10	5	3	2	2	0	2	3	2	1	3	0	-	-	-	-	0	-	0	0	35
	シンガポール国立大学（シンガポール）	-	1	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	エセムビジネススクール（フランス）	-	0	0	1	2	0	0	0	0	1	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	4
	オークランド工科大学（ニュージーランド）	-	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	-	-	-	-	-	-	1	-	3
	小計	0	7	15	10	11	5	9	9	3	12	10	6	12	6	0	0	0	0	5	0	10	7	137
合計		51	72	101	45	61	67	65	69	46	41	43	41	62	40	0	3	0	2	9	0	50	45	913
																3		2		9				

※2025年3月時点ですでに終了しているプログラムをグレーで表示しています。

〈参考〉全学募集留学プログラムへの経営学部派遣実績

■2024年度（2025年1月現在）

	プログラム名		派遣者数計	経営学部
国際教育センター	Global Fieldwork Project	ホーチミン市人文社会科学大学	19	0
		マレーシア科学大学	24	2
		パンニャサ大学	8	0
		チュラロンコン大学	18	0
		ガジャマダ大学	0	0
		淡江大学	15	1
	Advanced Global Fieldwork Project	ハノイ貿易大学	22	1
		チェンマイ大学	12	1
	立命館・昭和ボストン「文化・社会調査」プログラム		18	3
	異文化理解セミナー	アラバマ大学	12	0
		サイモンフレーザー大学	40	4
		クイーンズ大学	40	2
		ニー・アン・ポリテクニーク	27	4
		イリノイカレッジ	23	4
		ボストン大学	40	7
		トロント大学	50	4
		ウォーリック大学	49	6
		メルボルン大学	0	0
		ヴィクトリア大学ウェリントン	0	0
	現地で学ぶ初修語セミナー	国立台湾師範大学	10	1
		北京大学	16	0
		高麗大学	39	4
		トゥールーズ大学ジャン・ジョレス校	26	3
		ライプツィヒ大学	17	1
		アルカラ大学	34	4
		モンテレイ工科大学	0	0
	立命館・マコーリー大学「日豪関係」プログラム		23	2
	海外スタディ	ベース大学	1	0
		マレーシア工科大学	12	2
		ラトガーズ大学	17	1
	立命館×UC Davis Global Online Learning ～アメリカで学ぶSDGsとAcademic English～		0	0
	立命館・カリフォルニア大学デービス校「アメリカの言語・文化・社会」プログラム	春出発	14	6
		夏出発	28	5
	立命館・ワシントン大学「持続可能な社会とイノベーション」プログラム		14	2
	立命館・ヨーク大学「イギリスで学ぶクリエイティビティ」プログラム		36	9
	立命館・UBCアカデミック・イマージョン・プログラム		61	8
	立命館・UBCアカデミック・イマージョン・プログラム+サマーセッション		0	0
	UBC2年目派遣プログラム		2	0
	立命館・アルバータ大学「北米の言語・文化・社会」プログラム		6	2
	ASEANで学ぶ国際PBLプログラム	タマサート大学	2	1
		チュラロンコン大学	1	1
		マヒドン大学	0	0
		インドネシア大学	0	0
		ガジャマダ大学	0	0
		パンドン工科大学	0	0
	交換留学 春出発	（英語）	6	3
		（初修外国語）	12	0
	交換留学 夏出発	（英語）	91	16
		（初修外国語）	26	1
	学部共同学位プログラム（DUDP）2回生派遣	アメリカン大学	1	0
	国際教育センター実施プログラム分　合計		912	111

■2023年度

	プログラム名		派遣者数計	経営学部
国際教育センター	Global Fieldwork Project	ホーチミン市人文社会科学大学	61	23
		ハノイ貿易大学	37	1
		マレーシア科学大学	71	12
		パンニャサ大学	24	7
		チュラロンコン大学	44	11
		チェンマイ大学	20	1
		ガジャマダ大学	20	1
		淡江大学	40	0
	立命館・昭和ボストン「文化・社会調査」プログラム		29	3
	異文化理解セミナー	アラバマ大学	0	0
		サイモンフレーザー大学	40	5
		クイーンズ大学	26	2
		ニー・アン・ポリテクニーク	19	0
		ノッティンガム大学	0	0
		イリノイカレッジ	14	3
		ボストン大学	30	5
		トロント大学	40	6
		ウォーリック大学	35	2
		メルボルン大学	0	0
		ヴィクトリア大学ウェリントン	0	0
	現地で学ぶ初修語セミナー	国立台湾師範大学	12	0
		北京大学	16	1
		高麗大学	45	2
		トゥールーズ大学ジャン・ジョレス校	17	2
		ライプツィヒ大学	27	5
		アルカラ大学	20	2
		モンテレイ工科大学	0	0
	立命館・マコーリー大学「日豪関係」プログラム		19	4
	海外スタディ	ベース大学	0	0
		マレーシア工科大学	9	1
		ラトガーズ大学	16	3
	立命館×UC Davis Global Online Learning～アメリカで学ぶSDGsとAcademic English～		0	0
	立命館・マラ工科大学「東南アジアで学ぶ多文化共生とダイバーシティ」プログラム		0	0
	立命館・ヨーク大学「イギリスで学ぶクリエイティビティ」プログラム		27	6
	立命館・ワシントン大学「持続可能な社会とイノベーション」プログラム		17	3
	立命館・カリフォルニア大学デービス校「アメリカの言語・文化・社会」プログラム	春出発	11	3
		夏出発	16	4
	立命館・アルバータ大学「北米の言語・文化・社会」プログラム		7	1
	立命館・UBCアカデミック・イマージョン・プログラム		64	8
	立命館・UBCアカデミック・イマージョン・プログラム+サマーセッション		2	0
	UBC2年目派遣プログラム		3	0
	ASEANで学ぶ国際PBLプログラム	タマサート大学	3	0
		チュラロンコン大学	2	0
		マヒドン大学	0	0
		インドネシア大学	0	0
		ガジャマダ大学	4	0
		パンドン工科大学	0	0
	交換留学 春出発	（英語）	8	0
		（初修外国語）	10	1
	交換留学 夏出発	（英語）	76	22
		（初修外国語）	24	5
	学部共同学位プログラム（DUDP）2回生派遣	アメリカン大学	1	0
	国際教育センター実施プログラム分　合計		1006	155

■2022年度

	プログラム名		派遣者数計 現地渡航	派遣者数計 オンライン	経営学部 現地渡航	経営学部 オンライン
国際教育センター	Global Fieldwork Project	ホーチミン市人文社会科学大学	0	0	0	0
		ハノイ貿易大学	0	0	0	0
		マレーシア科学大学	0	0	0	0
		パンニャサ大学	0	0	0	0
		チュラロンコン大学	0	0	0	0
		ガジャマダ大学	0	0	0	0
		淡江大学	0	0	0	0
	立命館・昭和ボストン「文化・社会調査」プログラム		0	0	0	0
	異文化理解セミナー	アラバマ大学	0	0	0	0
		サイモンフレーザー大学	37	0	4	0
		クイーンズ大学	24	0	3	0
		ニー・アン・ポリテクニーク	0	0	0	0
		ノッティンガム大学	0	0	0	0
		イリノイカレッジ	10	0	1	0
		ボストン大学	14	0	3	0
		ニューヨーク大学	0	0	0	0
		トロント大学	29	0	10	0
		ウォーリック大学	26	0	2	0
		メルボルン大学	0	0	0	0
		ヴィクトリア大学ウェリントン	0	0	0	0
	現地で学ぶ初修語セミナー	国立台湾師範大学	0	0	0	0
		北京大学	0	0	0	0
		高麗大学	35	0	2	0
		トゥールーズ大学ジャン・ジョレス校	0	0	0	0
		ライプツィヒ大学	0	0	0	0
		アルカラ大学	17	0	2	0
		モンテレイ工科大学	0	0	0	0
	Advanced Global Fieldwork Project	ハノイ貿易大学	0	0	0	0
		マレーシア科学大学	0	0	0	0
		チェンマイ大学	0	0	0	0
		チュラロンコン大学	0	0	0	0
	海外スタディ	ベース大学	0	0	0	0
		マレーシア工科大学	6	0	0	0
		ラトガーズ大学	8	0	1	0
	Asian Community Leadership Seminar（慶熙大学校/淡江大学）		0	0	0	0
	立命館・マコーリー大学「日豪関係」プログラム		0	0	0	0
	立命館×UC Davis Global Online Study～アメリカで学ぶSDGsとAcademic English～		-	9	-	1
	立命館・マラ工科大学「東南アジアで学ぶ多文化共生とダイバーシティ」プログラム		0	0	0	0
	立命館・ヨーク大学「イギリスで学ぶクリエイティビティ」プログラム		26	0	8	0
	立命館・ワシントン大学「持続可能な社会とイノベーション」プログラム		0	0	0	0
	立命館・カリフォルニア大学デービス校「アメリカの言語・文化・社会」プログラム	春出発	0	0	0	0
		夏出発	30	0	5	0
	立命館・UBCアカデミック・イマージョン・プログラム		64	0	21	0
	UBC2年目派遣プログラム（サマーセッションのみ）		0	0	0	0
	ASEANで学ぶ国際PBLプログラム	タマサート大学	4	0	0	0
		チュラロンコン大学	2	0	0	0
		マヒドン大学	0	0	0	0
		インドネシア大学	0	0	0	0
		ガジャマダ大学	1	0	0	0
		パンドン工科大学	1	0	0	0
	立命館・アルバータ大学「北米の言語・文化・社会」プログラム		14	0	3	0
	交換留学 春出発	（英語）	0	0	0	0
		（初修外国語）	11	1	0	0
	交換留学 夏出発	（英語）	64	0	11	0
		（初修外国語）	18	0	4	0
	学部共同学位プログラム（DUDP）2回生派遣	アメリカン大学	1	0	1	0
		サフォーク大学	0	0	0	0
	国際教育センター実施プログラム分　合計		442	10	81	1

■2021年度

	プログラム名		派遣者数計 現地渡航	派遣者数計 オンライン	経営学部 現地渡航	経営学部 オンライン
国際教育センター	Global Fieldwork Project	ホーチミン市人文社会科学大学	0	0	0	0
		ハノイ貿易大学	0	0	0	0
		マレーシア科学大学	0	0	0	0
		パンニャサ大学	0	0	0	0
		チュラロンコン大学	0	0	0	0
		ガジャマダ大学	0	0	0	0
		淡江大学	0	0	0	0
	立命館・昭和ボストン「文化・社会調査」プログラム		0	0	0	0
	異文化理解セミナー	アラバマ大学	0	0	0	0
		サイモンフレーザー大学	0	0	0	0
		クイーンズ大学	0	0	0	0
		ニー・アン・ポリテクニーク	0	0	0	0
		ノッティンガム大学	0	0	0	0
		イリノイカレッジ	0	0	0	0
		ボストン大学	0	0	0	0
		ニューヨーク大学	0	0	0	0
		トロント大学	0	0	0	0
		ウォーリック大学	0	0	0	0
		メルボルン大学	0	0	0	0
		ヴィクトリア大学ウェリントン	0	0	0	0
	現地で学ぶ初修語セミナー	国立台湾師範大学	0	0	0	0
		北京大学	0	0	0	0
		高麗大学	0	0	0	0
		トゥールーズ大学ジャン・ジョレス校	0	0	0	0
		ライプツィヒ大学	0	0	0	0
		アルカラ大学	0	0	0	0
		モンテレイ工科大学	0	0	0	0
	Advanced Global Fieldwork Project	ハノイ貿易大学	0	0	0	0
		マレーシア科学大学	0	0	0	0
		チェンマイ大学	0	0	0	0
		チュラロンコン大学	0	0	0	0
	海外スタディ	ベース大学	0	0	0	0
		マレーシア工科大学	0	0	0	0
		ラトガーズ大学	0	0	0	0
	Asian Community Leadership Seminar（慶熙大学校/淡江大学）		0	0	0	0
	立命館・マコーリー大学「日豪関係」プログラム		0	0	0	0
	立命館×UC Davis Global Online Study～アメリカで学ぶSDGsとAcademic English～		-	45	-	5
	立命館×ヨーク大学 Global Online Study		-	15	-	2
	立命館×マレーシア工科大学 Global Online Study		-	15	-	3
	立命館×高麗大学 Global Online Study		-	17	-	1
	立命館×ライプツィヒ大学 Global Online Study		-	13	-	1
	立命館×アルカラ大学 Global Online Study		-	5	-	2
	立命館×昭和女子大学ボストン校 Global Online Study		-	16	-	0
	立命館×国立台湾師範大学 Global Online Study		-	17	-	0
	立命館・マラ工科大学「東南アジアで学ぶ多文化共生とダイバーシティ」プログラム		0	0	0	0
	立命館・ヨーク大学「イギリスで学ぶクリエイティビティ」プログラム		0	0	0	0
	立命館・ワシントン大学「持続可能な社会とイノベーション」プログラム		0	0	0	0
	立命館・カリフォルニア大学デービス校「アメリカの言語・文化・社会」プログラム	春出発	0	0	0	0
		夏出発	0	0	0	0
	立命館・UBCアカデミック・イマージョン・プログラム		0	15	0	2
	UBC2年目派遣プログラム（サマーセッションのみ）		0	0	0	0
	ASEANで学ぶ国際PBLプログラム		0	1	0	0
	立命館・アルバータ大学「北米の言語・文化・社会」プログラム		0	0	0	0
	交換留学 春出発	（英語）	0	1	0	0
		（初修外国語）	0	0	0	0
	交換留学 夏出発	（英語）	0	14	0	1
		（初修外国語）	0	1	0	0
	学部共同学位プログラム（DUDP）2回生派遣	アメリカン大学	1	0	1	0
		サフォーク大学	0	0	0	0
	国際教育センター実施プログラム分　合計		1	175	1	17

（1）外国語の学習について

留学にあたっては、一定の語学力が必要になるケースがほとんどです。例えば、交換留学の場合、英語圏については出願時にほとんどの大学でTOEFL iBT®テスト（正規スコア）やIELTSのスコアが必要になります。また、初修外国語圏であれば、その国の言語をできるだけ学習しておくことが重要になります。計画的な外国語学習に努めましょう。

【TOEFL®テストについて】
TOEFL®テスト（Test of English as a Foreign Language）は、おもに英語圏の大学・大学院が、英語を母国語としない学生の入学要件として課している英語のテストです。そのスコアは、立命館大学が実施している長期の留学プログラムはもちろん、短期プログラムの選考などにおいても利用されます。

■TOEFL iBT®テスト
公的なTOEFL®テストスコア（正規スコア）とは、このTOEFL iBT®テストで取得したスコアを指します。コンピュータ上で行うテストでReading、Listening、Speaking、Writingの4つのセクションで構成されています。詳しくは実施団体（TOEFL®テスト日本事務局）のサイトで確認してください。
▶問い合わせ先
TOEFL®テスト日本事務局 ETS Japan合同会社
https://www.toefl-ibt.jp

■TOEFL ITP®テスト
TOEFL®テストの団体受験プログラムであるTOEFL ITP®テストは、過去のペーパー版TOEFL®テスト（TOEFL® PBTテスト）で出題されたものを再利用しています。スコアは公的なものではありませんがTOEFL iBT®テストのスコアと高い相関関係があります。留学を意識している人は、まず、このTOEFL ITP®テストを受験してみましょう。TOEFL ITP®テストは立命館大学で受験することができ、年に数回実施されています。具体的な日程については、以下のHPで確認してください。
▶問い合わせ先
立命館大学言語教育センター
http://www.ritsumei.ac.jp/gengo/gaikokugo-gakusyu/dantai.html/

【IELTSについて】
IELTS（International English Language Testing System）とは、主にイギリス、オセアニア、カナダなどの高等教育機関への留学の際にスコア提出を求められる英語力判定テストです。ヨーロッパ、アメリカでもTOEFL®テストに代わりIELTSを採用する教育機関が増えています。派遣先大学によって、交換留学の選考においても利用されることがあります。
テストはリスニング・リーディング・ライティング・スピーキングの4つのセクションで構成されています。テスト結果は各セクションごとに1から9までのバンドスコアで評価される他に、総合的にオーバーオール・バンド・スコアが評価されます。
▶実施団体の一例
公益財団法人 日本英語検定協会 公式HP
https://www.eiken.or.jp/ielts/

なお、IELTS for UKVIはテストの内容、難易度、採点基準等は通常のIELTSと同じですが、成績証明書にビザ申請用のIELTSを受験した旨、記載されます。IELTS for UKVIについては以下をご確認ください。
▶問い合わせ先
ブリティッシュ・カウンシル 公式HP
https://www.britishcouncil.jp/exam/ielts-uk-visa-immigration

【TOEIC®L&Rテストについて】
TOEIC®L&Rテスト（Test of English for International Communication）とは、英語によるコミュニケーション能力を幅広く評価する世界共通のテストです。世界約60カ国で実施されており、合否ではなく10点から990点までのスコアで評価されます。公的なTOEIC®L&Rテストスコアを取得するためのテストは、一般的に「公開テスト」と呼ばれており、年に10回程度実施されています。
▶問い合わせ先
一般財団法人国際ビジネスコミュニケーション協会（IIBC）
https://www.iibc-global.org

【初修外国語検定試験】
初修外国語の語学力を測るものとして、様々な検定試験があります。交換留学の応募には各検定試験3級程度の語学力が最低限必要であり、派遣先大学で正規科目を履修するにはより高い語学水準が求められます。初修外国語圏への交換留学を考えている場合には、国際基準の検定を受験することも検討し、語学力向上に努めて下さい。試験の実施回数は限られているため、事前に必要な情報を入手して準備してください。
※初修外国語とは、大学で初めて学ぶ英語以外の外国語で、経営学部ではドイツ語、フランス語、中国語、スペイン語、朝鮮語を指します。

※各試験は形式や目的がそれぞれ違います。したがって下表はあくまで参考値であり、自動的に換算されるものではありません。

【英語検定試験　難易度比較換算目安表】

TOEIC®L&Rテスト	TOEFL ITP®テスト	TOEFL iBT®テスト	IELTS™テスト	Cambridge	CEFR
900－990＋	670＋	120	8.5－9.0	CPE（C2 Proficiency）	C2
			8.0		
	600	95	7.0	CAE（C1Advanced）	C1
890			6.5		
785	550	72	5.5－6.0	FCE（B2 First）	B2
590－600	500	61	5.0		
550	480	57	4.0－4.5	PET（B1Preliminary）	B1
300－310	400	32			
220			3.0	KET（A2 Key）	A2
120			2.0		A1

CEFR＝Common European Framework of Reference for Languages
（CEFRはヨーロッパ言語共通参照枠としてヨーロッパ全体で外国語の学習者の習得レベルを示す際に用いられるガイドラインです。）

【中国語検定試験　難易度比較換算目安表】

中検*1	HSK*2	試験の程度
1級	6級 （5,000語以上）	中国語の情報をスムーズに読んだり聞いたりすることができ、会話や文章により、自分の見解を流暢に表現することができる。 5,000語以上の常用中国語単語
準1級		
2級	5級 （2,500語）	中国語の新聞・雑誌を読んだり、中国語のテレビや映画と鑑賞することができ、中国語を用いて比較的整ったスピーチを行うことができる。 2,500語程度の常用中国語単語
3級 （1,000～2,000語）		
4級 （500～1,000語）	4級 （1,200語）	中国語を用いて広範囲の話題について会話ができ、中国語を母国語とする相手と比較的流暢にコミュニケーションをとることができる。 1,200語程度の常用中国語単語
準4級	3級 （600語）	生活･学習・仕事などの場面で基本的なコミュニケーションをとる事ができ、中国旅行の際にも大部分のことを対応できる。 600語程度の基礎常用中国語及びそれに相応する文法知識

＊1 中国語検定試験　＊2 漢語水平考試

※「一般財団法人日本中国語検定協会」「中国政府公認の中国語資格HSK」のホームページより転載
［中検］http://www.chuken.gr.jp
［HSK］http://www.hskj.jp/

（2）外国語検定試験受験料補助制度・外国語講座受講料補助制度

立命館大学では、学生の自主的・積極的な外国語学習を支援するため、英語検定試験、初修外国語検定試験の受験を推奨しており、受験料を補助する制度を設けています。海外留学を目指す場合はもちろん、進路・就職活動にも有用なものですので、積極的に受験しましょう。

【制度の目的】

■学習目標の設定ができる！
高いスコアを目指して外国語学習に取り組むことは、学習の到着目標の設定となり、自分で学習成果の確認ができるので、励みになります。

■外国語の力を試すことができる！
現在の自分の外国語の運用レベルを知ることができます。

■立命館大学の留学プログラムに応募できる！
TOEFL ITP®テストで出願可能なプログラムもありますが、一部のプログラムへの申し込みには、TOEFL®テストの正規スコア（TOEFL iBT®テスト）やIELTSのスコアが必要です。

【経営学部　英語検定試験受験料補助制度】
経営学部では、外国語学習及び海外留学を支援するために、英語検定試験受験料補助制度を設けています。

対象学生：経営学部1回生～4回生
対象試験：①TOEFL iBT®テスト　②IELTS　③IELTS for UKVI
補助金額：15,000円（上限）
補助回数：1年（学年度）1回限り（ただし3月の試験は対象外）
応募資格：経営学部生で国際教育センターまたは経営学部が実施する留学・海外実習への応募を計画していること。加えて、直近セメスターのGPAが2.75以上であること。

※制度に関する案内は、manaba＋R ＞「経営学部生のページ」＞「学費・奨学金・補助金・経営学会」＞「英語検定受験料補助」より確認してください。

【経営学部校友会　外国語講座受講料補助制度】
経営学部では、経営学部校友会からの補助により、外国語学習及び海外留学を支援するために、外国語講座受講料補助制度を設けています。

対象学生：経営学部生1回生～4回生
対象講座：言語習得センター（CLA）と孔子学院の補助対象の外国語講座。
補助金額：国際経営学科生は25,000円（上限）経営学科生は15,000円（上限）
補助回数：在学中に1回（各講座に付き1回限り）
応募資格：経営学部生のうち①平素の学業成績が優秀で、②学習した外国語を活かす計画があり、③各種外国語講座で意欲的に学習した方（講座の欠席回数が２回以内であること）。加えて、④直近セメスターのGPAが2.75以上であること。

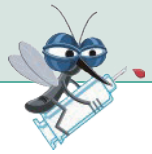
※制度に関する案内は、manaba＋R ＞「経営学部生のページ」＞「学費・奨学金・補助金・経営学会」＞「外国語講座受講料補助」より確認してください。

（3）ビザ申請

【ビザ（査証）】
ビザ（査証）とは、政府ないしそれに相当する公的機関が、入国しようとする外国人の入国および滞在が差し支えないことの判断を示し、その許可を証した書類のことを言います。ただし、ほとんどの国では、入国の最終的な決定権はその国の入国審査官にあるので、ビザはあくまでも入国の推薦状であり、入国を保証するものではありません。
ビザの要・不要、申請のための必要書類、発行までに要する時間、申請手数料などは国によって様々で、その規程は予告無く変更されることがあります。申請に当たっては、必ず留学先国の大使館または領事館などに直接問い合わせ、最新情報を得たうえで、手続きをしてください。発行までに長い時間を要する場合があります。

※留学プログラムによっては、一括でビザ申請を行う場合があります。
※米国入国に際してのESTA（Electronic System for Travel Authorization）等、ビザ以外の事前手続きが必要な国・地域もあります。これについても留学プログラムによっては、一括で申請を行う場合があります。

（4）海外での安全･危機管理および健康管理



【渡航前に治安状況を調べる】
留学先を決める段階から、各国の治安情報については、各自確認しておく必要があります。
1） 外務省「海外安全ホームページ」を確認する。
外務省の「海外安全ホームページ」で、海外へ渡航する日本人が、現地で事件や事故に巻き込まれないための情報を提供しています。国・地域別に、「危険情報」「スポット情報」「広域情報」にわけて、犯罪・事件・テロについての情報や、渡航・滞在における注意事項を発信しています。また、「安全対策基礎データ」には、その国の犯罪事情や習慣、ビザ・出入国審査、滞在時の留意事項、緊急連絡先などがまとめられていますので、事前に渡航先の情報を必ず確認しておいてください。
▶外務省海外安全ホームページ
http://www.anzen.mofa.go.jp
2） 留学先国の公的機関の情報を確認する。
地域の犯罪件数など、ホームページで公表している国もありますので、留学先の警察庁などのサイトを事前に確認しておいてください。
3） 現地の日本大使館・領事館の情報を確認する。
国や地域によっては、現地の日本大使館･領事館のホームページで治安情報を発信している場合があります。
4） 現地で生活した経験のある人から情報を得る。
過年度留学経験者や本学で学んでいる留学生から、現地の生の情報を得ておくことも大切です。近づいてはいけない地域や外出しては危険な時間帯など、より具体的に情報を収集しておきましょう。

【留学中の健康管理と危機管理】
立命館大学では、海外留学派遣が決定した学生を対象として、保健センターガイダンスおよび危機管理ガイダンスを実施しています。留学中に注意しなければならない事柄や、緊急事態の対処方法など、保健センター医師および専門家により説明がありますので、必ず出席してください。
海外留学中の危機管理サービスについて、経営学部事務室が提供する海外留学プログラムで留学する学生は、本学指定の危機管理サービス（有料）に加入することが義務付けられています。本サービスでは、24時間・365日利用できる相談窓口や、安否確認アプリなど皆さんが海外で安心・安全に過ごせるよう後方支援を行います。また、相談窓口については、事故やケガ等のトラブル相談だけでなく、留学生活中に生じるお困りごとについても相談することができ、皆さんの身近な相談役としてサポートしてくれます。

■現地到着後の所在登録について
日本国籍を有する方は、必ず以下の外務省の「渡航登録サービス」にご自身の情報を登録しましょう。
▶【３ケ月未満の渡航：外務省海外旅行登録「たびレジ」ホームページ】
https://www.ezairyu.mofa.go.jp/tabireg/index.html
▶【３ケ月以上の渡航：外務省在留届電子届出システム「ORRnet」ホームページ】
https://www.ezairyu.mofa.go.jp/RRnet/index.html

（5）海外旅行保険・旅行事故対策費用保険

【海外旅行保険】
立命館大学の海外留学プログラムで留学する学生は、本学が指定する保険会社と包括契約をする海外旅行保険に加入することが義務付けられています。留学先によっては、この保険に加入していても現地での健康保険や医療保険への加入が義務付けられることがあります。その場合は派遣先機関の指示に従って現地保険にも加入する必要があります。

【旅行事故対策費用保険】
海外留学プログラムで留学する参加者が留学中に事故、病気等になり、事故対応費用や救援者費用の支出を余儀なくされた場合に補償する保険です。大学で一括して加入手続きを行いますので、留学プログラム参加者個人が加入手続きを行う必要はありません。

【連絡先について】
海外旅行保険・旅行事故対策費用保険の詳細については、以下まで問い合わせてください。
▶取り扱い代理店／株式会社クレオヒューマン保険旅行事業部
TEL：075-463-9178　　E-mail：travel-r@creotech.co.jp

（6）留学中に本学で発生する重要な手続き

留学中であっても重要な手続きが発生する場合があります。必要な手続きは回生などによって異なります。以下に主な手続きについて記載しています。自身が該当すると思われる事項については、必ず留学前に経営学部事務室に確認を取っておいてください。
その他必要な情報については、manaba+Rや学内メールで配信される場合があります。留学中も情報のチェックは怠らないようにしてください。

【留学中に発生する重要な手続き（例）】

受講登録	専門演習（ゼミ）募集	学籍異動

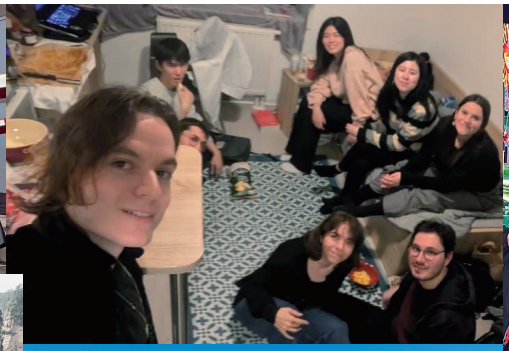
（7）帰国後の手続き

プログラムによっては、事後レポート・報告書・体験記の提出が求められる場合があります。所定の講義・ガイダンス等が設定されている場合は、必ず参加してください。
学籍が「留学」になるプログラムについては、帰国後に「留学終了届」を速やかに提出してください。提出に際しては、他に必要な手続きがないか必ず確認してください。なお、「留学終了届」を提出しなければ、留学を終了し、帰国していることを経営学部で確認することができないため、学籍を「在学」とする手続きが行えず、立命館大学での講義を受講できません。
派遣先大学開講科目を受講して単位修得し、本学での単位認定を希望する場合は「留学帰国者単位認定案申請書」、履修期間および成績が明記されている単位修得証明書、シラバス（和訳も必要）等を速やかにOIC学びステーションへ提出してください。本人による帰国後の単位認定申請を受けて、所定の基準に基づいて経営学部教授会において審議し、承認されれば、本学の科目として単位認定します。

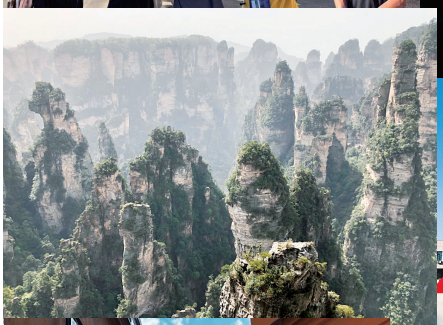


memo


IN-N-OUT







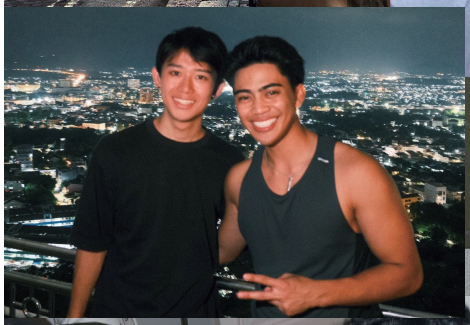

對外經濟貿易大學




CAFÉ VILVET


WORLD FOOD
TRUCKS








2024









BSA

立命館大学 経営学部事務室

〒567-8570　大阪府茨木市岩倉町2-150
Tel：072-665-2090

BSA ホームページ　https://ritsumei-ba-gblp.jp/

※TOEIC®、TOEFL®は Educational Testing Service（ETS）の登録商標です。
※TOEIC®L&RテストのL&Rは、LISTENING AND READINGの略称です。